

令和2年度 香南市産業振興計画の取り組み状況について (10月末)

・ 農業分野	:	1	～	5	ページ
・ 林業分野	:	6	～	7	ページ
・ 水産業分野	:	8	～	10	ページ
・ 商業分野	:	11	～	14	ページ
・ 工業分野	:	15	～	17	ページ
・ 観光分野	:	18	～	23	ページ
・ サイクリング専門委員会	:	24	～	29	ページ
・ 住宅分野	:	30	～	32	ページ

	R2年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評価	備考
新規就農者数	10人	10人	A	

※ 目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表される「前年度の新規就農者数」。

<p>【R2.4月～10月末の取組について】(P・D・C) 新型コロナウイルス感染症の影響により、担い手確保に向けた取り組みについては中止や延期等が相次いでいる。 就農相談件数は15件ほどあるが、すぐに就農へと繋がるケースなく、将来的な相談が多い状況。 既に就農されている方へは、高知県中央東農業振興センターやJA高知県と連携をとりながらサポートを行っている。</p> <p>【R3年度の取組について】(A) 新型コロナウイルス感染症の拡大により調整が遅れている人・農地プランの実質化をすすめ、地域でつくれる持続可能な農業の確立に力を入れて行く。</p>

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
担い手確保に向けた取り組み	<p>◆ 担い手確保に向けた取り組み</p> <p>1. 農業次世代人材投資事業(準備型)</p> <p>【目標値】補助交付人数(1人) 10月末実績：0人</p> <p>【実施主体】高知県</p> <p>【連携する分野】-</p>	<p>【当初】 次世代を担う農業者となることを志向し、就農に有効であると認める研修を実施する研修機関(農業大学校等)において農業経営育成教育研修を受ける者に対して当補助金を交付する。 ※ 高知県による直接交付事業。</p> <p>【10月末までの取り組み状況】 就農相談及び関係機関と情報共有</p>	<p>すぐに就農へと繋がるケースなく、将来的な相談が多い。新型コロナウイルス感染症の影響により毎年参加している県内外での就農相談に参加出来なかった。</p>	<p>現在、R3年度に交付予定希望の相談があることから、交付にむけての相談を重ねていく。 JA高知県や中央東農業振興センターとの情報共有や広報、就農相談会による周知を更に図る。</p>
	<p>2. 農の雇用事業</p> <p>【目標値】補助交付人数(1人) 10月末実績：0人</p> <p>【実施主体】高知県農業会議</p> <p>【連携する分野】-</p>	<p>【当初】 農業法人等が、新規就農者や被災農業者を雇用し、技術・経営ノウハウ等を習得させるために研修を実施したり、職員等を次世代の経営者として育成するために、国内外の先進的な農業法人や異業種の法人へ派遣して、雇用就農者の確保及び育成を図る。</p> <p>【10月末までの取り組み状況】 就農相談及び関係機関との情報共有</p>	<p>すぐに就農へと繋がるケースなく、将来的な相談が多い状況。新型コロナウイルス感染症の影響により、毎年参加をしている県内外での就農相談に参加出来なかったことも原因となっている。</p>	<p>JA高知県や高知県中央東農業振興センターとの情報共有や広報、就農相談会による周知を更に図る。</p>
	<p>3-1. 担い手支援事業(専業農家育成支援区分)</p> <p>【目標値】補助交付人数(4人) 10月末実績：0人</p> <p>【実施主体】高知県 香南市</p> <p>【連携する分野】-</p>	<p>【当初】 産地提案書及び香南市基本構想に基づく品目を栽培する専業農家を目指し、高知県知事が就農に有効であると認める研修を実施する研修機関等及び農の雇用事業を活用する農業法人等で研修を受ける者に対して高知県及び香南市が補助する事業。 ※ 農業次世代人材投資事業(準備型)及び農の雇用事業の上乗せ事業。 ※ 農業次世代人材投資事業(準備型)の対象外となる年齢の者も対象となる。(15歳以上65歳未満)</p> <p>R2: 香南市広報掲載への掲載による制度の周知。 合同就農相談会や移住相談会へ参加し就農希望者に対し香南市のアピールを行う。 JA、県農業振興センター、市で構成するサポートチームにより、就農初期の経営・技術、営農資金、農地等の課題に対応する。</p> <p>【10月末までの取り組み状況】 就農相談及び関係機関との情報共有</p>	<p>すぐに就農へと繋がるケースなく、将来的な相談が多い。新型コロナウイルス感染症の影響により、毎年参加をしている県内外での就農相談に参加出来なかったことも原因となっている。</p>	<p>JA高知県や高知県中央東農業振興センターとの情報共有や広報、就農相談会による周知を更に図る。</p>

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
担い手確保に向けた取り組み	3-2. 担い手支援事業 (後継者育成支援区分) 【目標値】補助交付人数 (3人) 10月末実績: 2人 メロン1 みかん1 【実施主体】 高知県 香南市 【連携する分野】 -	【当初】 農家子弟を県外等からUターン就農させ、経営体の後継者として育成を行う認定農業者等に対して補助を行う。 R2: 香南市広報掲載への掲載による制度の周知。 合同就農相談会や移住相談会へ参加し就農希望者に対し香南市のアピールを行う。 JA、県農業振興センター、市で構成するサポートチームにより、就農初期の経営・技術、営農資金農地等の課題に対応する。 【10月末までの取り組み状況】 担い手育成センターでの研修が9月末で1名、10月末で1名終了。今後は、親元にて研修が始まる。	すぐに就農へと繋がるケースなく、将来的な相談が多い。新型コロナウイルス感染症の影響により、毎年イオンモールにて開催の合同就農相談会はコロナ感染予防のため中止となった。	親元就農は新規参入よりリスクが少なく、地域での活動にも期待できる。 JA高知県や高知県中央東農業振興センターとの情報共有や広報、就農相談会による周知を図る。
	4. 農業次世代人材投資事業(開始型) 【目標値】補助金の新規交付人数 (4人) 10月末実績: 6人 (ニラ 4人、トマト 1人、キュウリ 1人) <参考> R2.7から夫婦型による開始 1件 R2.7から開始 4件 【実施主体】 高知県 香南市 【連携する分野】 -	【当初】 次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対し当補助金を交付し、青年就農者の確保及び育成を図る。 R2: 香南市広報掲載への掲載による制度の周知。 合同就農相談会や移住相談会へ参加し就農希望者に対し香南市のアピールを行う。 JA、県農業振興センター、市で構成するサポートチームにより、就農初期の経営・技術、営農資金農地等の課題に対応する。 【10月末までの取り組み状況】 新規受給者 6名 継続受給者 4名 サポートチームの就農状況等の確認 2回	サポートチームにより就農状況等を現地にて確認し、営農が続けられるようチームとしてサポート。	R3年4月から開始予定者 1名(品目:みかん) スムーズな就農ができるよう、高知県中央東農業振興センターやJA高知県と連携を図り、経営計画をたてることからサポートを行う。
	5. 農業後継者推進事業 【目標値】補助金の新規交付人数 (6人) 10月末実績: 1人(みかん) (参考) R2年度受給予定者:2名 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	【当初】 農業後継者の就農直後の不安定な経営を改善し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。 (3親等以内の親族が経営する農業の後継者で、県及び国の支援事業に該当しない者が対象となる。) R2: 香南市広報掲載への掲載による制度の周知。 合同就農相談会や移住相談会へ参加し就農希望者に対し香南市のアピールを行う。 JA、県農業振興センター、市で構成するサポートチームにより、就農初期の経営・技術、営農資金、農地等の課題に対応する。 【10月末までの取り組み状況】 新規受給者 1名 継続受給者 4名 サポートチームの就農状況等の確認 1回	所得要件(合計所得600万円未満)に当たらないため対象外となっている。 親元での研修計画内容に不安がある。	高知県中央東農業振興センターやJA高知県との情報共有や広報、就農相談会による周知を図る。
	6. モニターツアー事業 【目標値】参加者人数 (15人) 10月末実績: 0人 【実施主体】 香南市 香南市観光協会 (株)山北みらい 【連携する分野】 -	【当初】 営農を検討している香南市内外の人を対象に香南市産地提案書品目を中心に農作業体験モニターを実施する。参加者アンケートにより、(株)山北みらいの「週末農家事業」や「繁忙期の担い手事業」(R2年度から各実施予定)への参加等連携した取組を行う。 取組予定 R2~:ニラ(8月)、ブドウ(9月)、ミカン(11月) 【10月末までの取り組み状況】 0人 (新型コロナウイルス感染症の影響により未実施)	新型コロナウイルス感染症の影響により事業開催が出来なかった。 コロナ禍においての開催方法を再構築する必要がある。	感染予防等を実施し、体験モニターの開催を実施する。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
経営改善・農地維持に向けた取り組み	◆経営改善・農地維持に向け取り組み			
	1. 園芸用ハウス整備事業 【目標値】整備件数(13件) 10月末実績：4件 (規模拡大区分 3件、流動化 1件) 【実施主体】 JA高知県 香美地区 【連携する分野】 -	【当初】 農家が規模拡大をする場合や、新規就農者がハウスを建設する場合に、JAがとりまとめを行い、申請してくるレンタルハウス事業や、中古ハウスの修繕や災害復旧に伴う建て替え等の整備に必要な経費の一部を県と市が補助し、農業者負担の軽減を図る。 R2：香南市広報掲載への掲載による制度の周知や、JA高知県香美地区主催の説明会に市も参加して当事業について説明を実施する。 また、園芸用ハウス整備事業について説明を行うことで利用件数の増加を図る。 【10月末までの取り組み状況】 1件分の流動化区分の追加申請があったため、11月申請に向けて必要書類の準備を行った。	概ね予定通りに事業を遂行できているが、流動化区分1件が中止となった。	引き続き市やJA高知県と連携し、広報等で周知を図っていく。
	2. 環境制御技術高度化事業 【目標値】活用施設件数(25件) 10月末実績：5件(実施中) ※件数 = 経営体数 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	【当初】 JA及び市場等を通じて要望を取りまとめて、炭酸ガス発生装置等のリース導入を行った施設園芸農家に対し、国及び県の補助金に追加して香南市も助成を行う。 【10月末までの取り組み状況】 10月末までは5件(経営体数) 主な装置 環境制御装置、日射比例灌水、炭酸ガス発生機 濃度コントローラー、ダクトファン	【県環境制御技術高度化事業への別途市補助金 継ぎ足し分】 年度当初に予定されていた事業及び追加募集も含め、R2.12月現在は5件(経営体数)実施中。 【産地パワーアップ事業への別途市補助金 継ぎ足し分】 事業計画が10月下旬に承認されたため、5件(経営体数)の事業実施手続き中。	R3年度に向けての事業要望について、JA高知県等の関係機関と協議し、県へ要望書を提出をした。 今後は、再生協の幹事会において、産地の生産性向上に向けた取り組みを協議し、JA高知県や青果市場と連携をとり、円滑な実施及び周知を継続していく。
	3. 産地パワーアップ事業 【目標値】事業活用件数(30件) 10月末実績：0件 ※件数 = 導入機器数 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 産地パワーアップ計画書【香南市(ニラ)第2期】	【当初】 産地の高収益化に向けた低コスト耐候性ハウスや環境制御装置を導入して、全国一のニラ生産地を総合的に支援する。 R2：そぐり機 5件、環境制御装置 25施設を整備 【10月末までの取り組み状況】 10月末時点での実績は0件。 ※ 10月27日 計画変更承認(計10件) 主な機器 環境制御装置、自動開閉装置、ニラ洗浄そぐり機、加温機、灌水設備	10月に計画変更承認を受けたことから、11月から計10件(導入機器数)の取り組みを実施していく。 今後さらに1件の追加が予定されている。	R3年度に向けての事業要望について、JA高知県等の関係機関と協議し、県へ要望書を提出をした。 今後は、再生協の幹事会において、産地の生産性向上に向けた取り組みを協議し、JA高知県や青果市場と連携をとり、円滑な実施及び周知を継続していく。
	4. 人・農地プランの実質化 【目標値】【協議地区数(20地区)】 10月末実績：0地区 【実施主体】 香南市 香南市農業委員会 【連携する分野】 -	【当初】 地域にある農地や後継者の現状を把握し、未来に向けた地域のプランを設計する。 R2：全地区(20地区)の実質化。 【10月末までの取り組み状況】 会合開催に向けての準備、地図システムのメンテナンス、案内送付に係る郵便の手続きを行った。 ※ 11月末現在 2地区を実施。	20地区対象にアンケート調査を行い全地区集計面積50%を達成することができたが、12月中旬より新型コロナウイルス感染症の影響から、予定されていた各地区の開催は急遽延期となっている。 当初予定していたスケジュールや開催規模の再構築が求められている。 ※スケジュール等の再構築を行い、令和3年3月までに話し合いを各地区で開催し、20地区の実質化を図る。	R3年度は、R2年度の会合で見いだした「課題の解決」に向けた取り組みを行うために、各地区に出向き、引き続き、協議を重ねる。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
経営改善・農地維持に向けた取り組み	5. 農産物のブランド化の推進(みかん) 【目標値】 加工品の販売額(5,500千円) 10月末実績：1,890千円 ジュース売上：100千円 バター売上：1,790千円 【実施主体】 香南市農業活性化地域協議会 JA生産者部会・地域各実行委員会 (株)山北みらい等 【連携する分野】 商工業・観光	【当初】 各事業の活用や関係機関との連携により「山北みかん」を題材に香南市や産地のPRを行い、青果や加工品(ジュース、バター等)の販売拡大に取組み、農業所得の向上や雇用促進、地域活性化を図る。 <事業活用> 農山漁村振興交付金事業(H29～R3年)による外商やPR活動。 加工品の推進。・香南市産業振興計画推進事業費補助金による販路拡大や施設整備の取組。 <連携した取組(R2～)> ①ふるさと納税返礼品として活用。 ②生産者やJA・観光協会等と連携した販促やPRイベントを実施。 ③(株)山北みらい等とモニターツアーの実施や販路拡大の取組。 ④山北みかんこもれびマルシェを支援し、交流人口や地域活性化。 【10月末までの取り組み状況】 ・みかんバターレシピ案を作成し、印刷中。 ・山北みかんこもれびマルシェ開催を支援。 ※ コロナ禍の感染対策を徹底し実施。(来場者：2500人)	山北みかんこもれびマルシェについては、感染対策を徹底し実施することができたが、シャトルバスの運行等、課題が残った。 新型コロナウイルス感染症の影響により、山北みかんバターの製造回数の減少傾向にあり、今年度の販売額は例年より低い状況。 R2.12月末に向けて、ふるさと納税の申込みが予定されているが、目標値である販売額達成には届かない見込み。	R3年度は、こもれびマルシェ実行委員会の反省会に参加し、実施に向けて協議を図る。 また、山北みかんブランディング部会を開催し、販売額向上に向けた取り組みについて協議を図る。
	6. 農産物の販売力の推進(ニラ) ※ JA高知県(香南市分)入金額 ※ 園芸年度：8月～翌6月 【目標値】 ニラ販売額(1,500,000千円) 10月末実績：1,002,722千円 【実施主体】 JA高知県 香美地区(香美地区 ニラ部会) 香南市観光協会 香南市・香美市 【連携する分野】 県 物産部川アクションプラン NO.1 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト	【当初】 香南市の基幹品目であるが、H27年のニラ農家全戸225戸への意向調査等によると、10年後には戸数・収量共に3割～4割減となる恐れがある。このため、規模拡大志向のニラ農家や品目転換農家、新規就農者に対して、空きハウスの活用や省力化・収量向上の支援を行い生産量の確保を図る。また、流通・販売、観光イベントと連携したPR等により産地強化を推進する。 <取組内容> ◆「担い手確保に向けた取組」の各事業、並びに実践型研修ハウス(H31・R元年度設置)の活用による担い手の育成・支援の取り組み。 ◆「経営改善・農地維持に向けた取組」の各事業によるハウス・機器類導入による生産量及び販売額の向上。 ①園芸用ハウス整備事業 ③産地パワーアップ事業(②環境制御技術高度化事業含む) ○高知県次世代型ハウス・農業クラスター促進事業(R元年度、設備導入)の運営の安定化。 ○販路拡大やPRイベントについてJAや観光協会、地元飲食店や地域と連携した取組。農山漁村振興交付金事業(H29～R3年)によるパンフレット作成(R2年度予定) 【10月末までの取り組み状況】 13種類のニラレシピを作成し、香南市産のニラを取り扱う高知市内店舗にて配布中。	ニラの消費量を増加とニラの産地をPRするため、レシピを作成し量販店に配布している。 新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食店等の休業等も影響し、販売額は計画より低い推移となっている。	新たなニラメニューを模索しつつ、今後も配置してもらえる協力店舗を関係機関と一緒に探し、PRを続けていく。
	7. 中山間地域等直接支払事業 【目標値】 対象農地面積 6,650a 10月末実績：6,912 a 【実施主体】 各地区の活動組織 【連携する分野】 -	【当初】 中山間地域の農業生産条件が不利な地域において、5年間の各集落団体による農地保全や営農活動を推進する。 R2年度からは第5期対策(5年間、R2年度～6年度)として11団体で6,650aに取組む。 交付金の加算項目となる「集落戦略の作成」「協定間の連携による広域化活動」「指定棚田地域振興活動」等の取組実現に向けて各団体を支援していく。 ※当該団体を主体に、棚田地域振興法に基づく地域指定への取組(棚田を活用した地域活性化に繋がる活動計画策定や協議会設立等を検討) R2～R3：将来を見据えた集落戦略の作成、並びに指定棚田地域の指定への取組 【10月末までの取り組み状況】 第5期対策の開始にあたって、各集落協定に対し、継続及び対象農地の見直しを図った。 必要に応じて、各集落に出向き、説明をしたが、1組織(中山川集落)が継続を断念した。 しかしながら、対象面積を増やした集落があり、面積は昨年度より増加した。 加算項目の活用について、「集落協定の作成」は3集落で選択されたが、「協定間の連携による広域化活動」「指定棚田地域振興活動」は対象となる協定が無かった。	香我美町中山川地区では「高齢化」や「活動できる担い手の不足」、「制度が5年間のため先行きが不安」といった理由から継続を断念した。 現在の10団体の維持についても注力をしていく必要があることから、協議を進めていく。	人・農地プランで出た意見をもとに、制度を活用できる可能性がある集落をピックアップし、集落の代表者等に説明を実施していく。 この取り組みを進め、R3年度以降の集落協定の立ち上げに繋げていく。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
経営改善・農地維持に向けた取り組み	8. 多面的機能直接支払事業	【当初】 各地区の活動組織に対し、交付金を支払い、農地や農業用水路等の保全と質的向上を図る。	R2年度から新たに下井地区、赤岡西部地区が立ち上がる予定であったが、見送りとなったため、目標値に達していない。 また、各組織の代表を集めて研修会を開く予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	新たな組織の立ち上げに向けて周知を図るとともに、既存の活動組織が円滑に事業を実施できるように、市主催の研修会を開催していく。
	【目標値】 対象農地面積 32,930a 10月末実績： 27,383a	R2：再認定1組織(西部)、新規立ち上げに向けた調整、既存組織の対象農地面積拡大		
	【実施主体】 各地区の活動組織	【10月末までの取り組み状況】 各地区で取り組みを行っており、第2回目の交付を受けている。		
	【連携する分野】 -			
	9. 有害鳥獣被害対策実施事業	【当初】 鳥獣被害の軽減するため、猟期外にも捕獲許可を出し、捕獲体制の強化を図る。 捕獲者には報償金を交付する。	捕獲数については、例年より多い状況である。	香南地区猟友会や香我美狩猟クラブと連携しながら、被害対策を実施する。
	【目標値】 駆除数(635頭羽) 10月末実績： 631頭羽 イノシシ: 270頭 シカ： 157頭 その他(タヌキ・カラス等)： 204頭	【10月末までの取り組み状況】 136件の捕獲許可証を発行し、イノシシ270頭、シカ157頭、その他204頭の捕獲実績があった。		
	【実施主体】 香南地区猟友会 香我美狩猟クラブ			
	【連携する分野】			
	10. 有害鳥獣被害防止事業	【当初】 有害鳥獣が農地に入らないように、補助金を交付し、防護柵の設置を推進する。 ※補助制度について香南市広報掲載や農業者から有害鳥獣による被害があった場合に活用を促す等して周知し、防護柵の設置を推進する。	概ね予定通りに事業を実施できているが、設置をしても場所によっては被害を受けるため、広範囲に設置する必要がある。	人・農地プランの地区会合等で、引き続き事業の周知を行い、活用に繋げる。
	【目標値】【柵の設置距離数(10,000m)】 10月末実績： 5,836m	【10月末までの取り組み状況】 37件の補助金を交付し、柵設置距離数は5,836mとなっている。		
【実施主体】 香南市				
【連携する分野】 -				
◆ 農業生産基盤の充実に向けた取り組み				
1. 耕作条件改善事業	【当初】 1. 中ノ村地区 曾我堰改修工事 (R2.10月予定) 農道水路施工 (R2.9月予定) 2. 東佐古地区 東佐古地区水路改修工事 (R2.9月予定)	事業は概ね予定どおりに実施できている。 曾我堰の改修については年度内発注に向けて進めているが、年度内の完成は困難である。	事業完了に向けて、地元関係者との調整を図りながら進めていく。	
【目標値】 地区数 (2地区) 10月末実績： 2地区	【10月末までの取り組み状況】 1. 中ノ村地区 曾我堰改修工事 (R3.1月発注予定) 農道水路施工 (R2.11月発注済) 2. 東佐古地区 東佐古地区水路改修工事 (R2.6月発注済)			
【実施主体】 香南市				
【連携する分野】 -				
2. 重油流出防止付燃料タンク整備事業	【当初】 重油タンク転倒時の流出防止付燃料タンクの整備及びヒートポンプへの変更の実施。 ※市が策定した流出防止装置付き燃料タンク等整備計画に基づくタンク・防油堤の設置及びヒートポンプへの変更を実施する。	R2.12月の申請に向けて準備中であるため現段階では実績は0箇所である。 個人負担もあることから、既設分の変更等、積極的な活用がされていない。	R3年度は、当初の計画に上がっている案件に対しては、5月から準備を行い、申請予定である6月に県へ申請を行う。 また、今後の整備数拡大につなげるため、重油流出の対策がなされていないタンク保有者に対して、対策の主旨を記した補助金の案内文を7月に送付し、R4年度の申請を促す。	
【目標値】 整備数 (20か所) 10月末実績： 0箇所	R2：津波浸水区域を優先的に実施。 当事業の周知：R元年度よりタンクの整備件数が減っていることから、市やJAの広報・HPで当事業の整備を積極的に周知			
【実施主体】 JA高知県 香美地区 燃料販売を行う事業者	【10月末までの取り組み状況】 R3年度の要望調査を行った。 12月申請に係る必要書類の準備を行っている。			
【連携する分野】 流出防止装置付き燃料タンク等整備計画				

	R2年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評価	備考
間伐面積	25ha	3.88ha	-	

※ 目標値である「間伐面積」は、間伐面積は「緊急間伐総合支援事業」と「森林管理制度間伐委託事業」の合計値

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)

<p>【R2.4月～10月末の取組について】(P・D・C) 保育間伐を3.88ha実施済み。 木材価格が新型コロナウイルス感染拡大前より低い状況が今後も続く見込みであるため、保育間伐に重点的に取り組んでいく。</p> <p>【R3年度の取組について】(A) 引き続き、緊急間伐総合支援事業費補助金の保育間伐において、森林環境譲与税を活用し新設した100%補助事業により、事業を進めていく。 森林管理制度間伐委託事業については、意向調査及び森林境界明確化の結果をもとに事業の実施を検討していく。</p>

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
森林環境の保全に向けた取り組み	◆ 森林の管理			
	1. 意向調査の実施 【目標値】 (30ha) 10月末実績： 0ha 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	【当初】 森林環境譲与税を活用し、整備されていない森林の所有者に市から調査文書を発送し、自身が保有している森林の今後の管理について、「自身で管理する」又は「市に管理を委ねる」の回答を得る。 R2 : 森林所有者への意向調査の実施 (夜須町仲木屋) 【10月末までの取り組み状況】 登記簿情報に加えて、納税義務者の情報を活用し、送付先を取りまとめた。 ※12月現在、夜須町仲木地区(40～42林班)を対象に39人に意向調査を送付済み。 現在は森林所有者からの回答結果を集計中。 (21名の返信があり)	法務局の登記簿の情報及び税務収納課が所有する納税義務者の情報をもとに意向調査を発送したが、それらの情報でも特定できない場合や、意向調査を送付したが回答をもらえない場合があった。	調査ができていない森林については、戸籍をたどり、現在の所有者を特定する。 また、調査の返信が無い場合は、直接、送付先の住所に訪問して調査を行っていく。
森林環境の保全に向けた取り組み	◆ 森林境界明確化事業の実施			
	1. 森林管理制度森林境界明確化委託事業 【目標値】 (25ha) 10月末実績： 0ha 【実施主体】 香南市 ※連携団体(香美森林組合) 【連携する分野】 -	【当初】 意向調査を実施した森林について、市が事業主体となり、森林境界明確化を実施する。 R2 : 森林境界明確化の実施(夜須町仲木屋) 【10月末までの取り組み状況】 香美森林組合と協議し、意向調査対象森林の中から、森林境界明確化の実施箇所を選定。 ※12月現在、香美森林組合に発注し、意向調査の対象森林のうち、30haを選定して実施している。	意向調査で現在の所有者を特定できなかった森林及び所有者から返信の無い森林があるため、探索が必要である。	戸籍の情報や、森林組合の過去の事業実績による情報をもとに、森林所有者の探索を継続し、より広い面積で実施する。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
森林環境の保全に向けた取り組み	◆ 間伐事業の実施			
	1. 緊急間伐総合支援事業(保育・搬出間伐) 【目標値】 (25ha) 10月末実績: 3.88ha 【実施主体】 香美森林組合 【連携する分野】 -	【当初】 「緊急間伐総合支援事業費補助金」を活用し、香美森林組合等が保育・搬出間伐を実施する。 R2以降: 保育・搬出間伐の実施 【10月末までの取り組み状況】 保育間伐3.88haを実施済。 ※12月現在、緊急間伐総合支援事業費補助金の保育間伐において、森林環境譲与税を活用した100%補助事業を新設し、事業を実施中。 また、市有林の保育・搬出間伐を実施予定。	木材価格が新型コロナウイルス感染症拡大前より低い状況が今後も続く見込みであるため、保育間伐を重点的に取り組む必要がある。	新設した保育間伐の100%補助事業を活用し、事業を進めていく。 また、R2年度末～3年度にかけて市有林(香我美町撫川カナツキ)の間伐を実施する。
	2. 森林管理制度間伐委託事業(保育間伐) 【目標値】 (施業地の選定) 10月末実績: 未実施 【実施主体】 香南市 ※連携団体 香美森林組合 等 【連携する分野】	【当初】 意向調査の結果、「市に管理を委ねる」と回答があった森林のうち、「経営が成り立たない森林」に対し、森林環境譲与税を活用し、市が事業主体となり、保育間伐を実施する。 R2: R3年度の事業実施に向けた施業地の選定 【10月末までの取り組み状況】 未実施	10月末までには未実施であったが、R2年度中に選定を行う。 森林境界明確化対象森林の中で、経営管理が「成り立たない森林」を選定し、R3年度の事業実施に繋げていく。	R2年度中に選定し、該当する森林が無い場合は、森林境界明確化や地籍調査を実施済の森林から、事業が実施できる可能性のある森林を抽出し、意向調査を実施したうえで事業を実施する。
啓発・普及への取り組み	◆ 山や森林に親しむ機会の提供			
	1. 木育事業 ①木育イベントの開催 ②保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施 ③市主催以外の木育・林業関連のイベントの周知 【目標値】 実施回数(11回) 10月末実績: 5回 【実施主体】 香南市 ※連携団体 高知県森と緑の会 香南市支部 香南市教育委員会 香美森林組合 地域の有識者 【連携する分野】	【当初】 図書館等で子どもたちを対象とした木育イベントの開催する。 また、市内の保育園や幼稚園、小・中学校の授業や行事での森林体験学習を実施する。 ※市内保・幼・小・中学校 22施設を対象とし、毎年11施設ずつ実施。 ※緑の募金を活用し、高知県森と緑の会と連携して事業を実施する。 ※森林環境譲与税を活用し、香南市農林水産課の事業として実施する場合もある。 ※林業関係者及び有識者と連携して事業を実施する。 【10月末までの取り組み状況】 木育イベントについては香我美幼稚園、夜須小学校、野市小学校、香我美小学校、夜須中学校の5カ所で実施。 ※森林面積や間伐についての学習やバードカーピング等、木材を利用した作品製作を地元の講師の指導のもとに実施。 ※間伐体験の実施についてご理解をいただいた市民の方が所有する山林を視察。 交通手段等の検討が必要であるが、候補地として選定。 ※事業実施を希望する各保・幼・小・中学校へ「事業計画書」を提出してもらい、打合せを実施。 その後、各校からのアンケートを集め、意見集約。 ※情報共有・事業推進のため「木育通信」を発刊し、各所へ送付した。	事業を実施した施設の先生、生徒、保護者からは「貴重な経験となった」等、高評価を頂いた。 R2年12月23日現在、実施回数は8回(実施予定1回)となっており、目標達成に向け、木育通信や各媒体により、推進を図る。 また、要望の中では、「施設の木製備品が欲しい」とのご意見もいただいたが、R2年度の対応は難しい内容であったため、前向きな回答はできなかった。	木育事業は、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、引き続き「木育通信」等を活用し推進を図る。 間伐体験は、交通手段等の問題解決に向けた検討等、実施に向けた条件整備を行うとともに、事業実施を希望する各保・幼・小・中学校の獲得に向け、引き続き周知を図る。 木製備品については、所属長会等で要望を募り、緑の募金事業の範囲内で対応する。

令和2年度の取り組み計画 【水産業分野】

	R2年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評価	備考
沿岸漁業 総生産額	285百万円	135百万円	-	

※高知県漁協(手結・赤岡・吉川)及び漁協水揚げデータに反映されない法人経営体の生産額。

■ 取組の総評

(※ 左の数値に対しての総評)

<p>【R2.4月～10月末の取組について】(P・D・C) 沿岸漁業総生産額については、昨年10月末と比較してイワシシラスの生産額が減少しているため全体として減少している結果となっている。(前年同月比66%) 11月以降はイワシシラスの最盛期になってくるので、今後の動向を注視していく。 漁業の生産性の向上、漁業経営の安定化を図るため、新型コロナウイルスの影響を受けている漁業者に対して燃料費等の運営経費の一部を支援する制度を整備、支援を実施している。</p> <p>【R3年度の取組について】(A) 今後は「新しい生活様式」に対応するために、「新しい生活様式」に適合するような商品(通販・持ち帰り可能品等)を開発、新たな販路を開拓することにより、市内水産物等の利活用を促進させ、地域の事業者及び産業関連業者の振興及び経営安定を図る。</p>

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
地産の強化	◆ 生産基盤の充実			
	1. 水産機能施設の整備 【目標値】3件 10月末実績：1件完了 2件(施工中) 【実施主体】 香南市・高知県漁業協同組合 【連携する分野】-	【当初】 R2.6:吉川水産機能施設(冷凍設備)改修 R2.7:赤岡水産機能施設(上架施設)改修 R2.8:吉川水産機能施設(荷捌き所)補修 【10月末までの取り組み状況】 R2.8吉川水産振興施設(冷凍設備)改修完了 R2.11赤岡水産機能施設(上架施設)改修完了予定 R2.11赤岡水産機能施設(荷捌き所)補修完了予定	現在計画どおり順調に進捗している。	計画している改修整備以外に緊急の故障等により、漁業活動への支障を来している施設もある。 そのため、各支所の状況を継続してヒアリングし、漁協と連携し、適切な維持管理に努める。
	2. 漁港施設の整備 水産物供給基盤機能保全事業保全計画 【整備率%】 ※ ○/11施設(A判定のみの数) ※ 参考: R2年3月末 6施設/11施設 = 55%	【当初】 【水産基盤ストックマネジメント事業(長寿命化)】 11施設 住吉漁港:休けい物揚場(完)・東防波堤(完)・西防波堤 吉川漁港:-2.0m物揚場(完)・-1.5m物揚場(完) ・護岸(東)(完)・船揚場(4)(完) 導水施設(B)・-3.5m航路・-3.0m泊地・-2.0m泊地 R2:7施設/11施設 住吉:西防波堤 0.5施設 吉川:導水施設(B) 0.5施設 計1施設 →吉川:-3.5m航路 1.0施設へ変更 【10月末までの取り組み状況】 吉川漁港-3.5m航路施工中 R3.1完了予定	当初計画は住吉漁港(西防波堤)・吉川漁港(導水施設(B))の保全工事を予定していたが、吉川漁港-3.5m航路の土砂堆積による航行障害が発生したため、急遽実施することとなった。 今後も定期的に深浅測量を実施し、安全な航行体制の確保に努める。	機能保全計画に沿った保全工事実施 (住吉・吉川)
	【目標値】整備率64% 10月末実績：55%整備率(6/11施設) ※R2.3末と同率 【実施主体】 香南市 【連携する分野】-			
◆ 漁業者の生産性の向上				
1. 沿岸漁業設備投資促進事業 【目標値】利子補給制度策定他 10月末実績：一部策定 沿岸漁業等経営育成資金利子補給制度 漁業災害対策資金利子補給制度(新型コロナウイルス対策) 水産業活力支援事業費補助金(新型コロナウイルス対策) 【実施主体】 漁業者・漁業就業支援センター (漁協・高知県・香南市) 【連携する分野】-	【当初】 R2: 漁業者の設備投資の際に借り入れる近代化資金の利子補給制度の策定 【10月末までの取り組み状況】 ・沿岸漁業等経営育成資金利子補給制度 ・漁業災害対策資金利子補給制度(新型コロナウイルス対策) ・水産業活力支援事業費補助金(新型コロナウイルス対策) → 内水面養殖業 1件交付	現在、新型コロナウイルス感染症対策として、漁業者の運営経費(燃料費)への支援として「水産業活力支援事業費補助金」により、11月末現在、9経営体(うち内水面養殖業1経営体)への交付を実施。 また申請受付も継続して行っていく。	漁業者の生産性向上のための設備投資に対する支援として漁船導入支援事業による支援を実施する。	

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
流通・販売の強化	◆ 市内水産物の認知度向上(ブランド化)			
	1. 市内水産物の魚価向上 【目標値】 【平均kg単価(円/kg)】 (シイラ) 【平均kg単価(138円/kg)】 (イワシシラス) 【平均kg単価(361円/kg)】 10月末実績 (シイラ) 【平均kg単価(92円/kg)】 ・・・前年同月比97% (イワシシラス) 【平均kg単価(495円/kg)】 ・・・前年同月比95% 【実施主体】 高知県漁業協同組合 香南市観光協会 香南市商工会 シラス加工業者 漁業者 行政(高知県・香南市) 【連携する分野】 観光分野、商業分野	【当初】 他分野との連携による市内水産物(シラス・シイラ)の利活用(観光協会等と連携) R2: 地元産水産物の利用状況アンケートの実施・集計 【市・観光協会等】 ⇒ 未使用店舗への利用促進 ⇒ 地元からのPR強化 【市・観光協会等】 【水産業関係者と連携可能な事業所とのマッチング】 R2～: 漁協等と事業所のマッチングによる新商品の開発・販売 【漁協等・事業所】 【10月末までの取り組み状況】	(シイラ) 10月末現在で昨年と比較するとkg単価及び生産量も減少している。 (イワシシラス) kg単価は昨年と比較すると減少し、また全体的に水揚げが少ないため生産額は大幅に減少している。これから最盛期に入ることから今後の動向に注視していく。 (地元産水産物の利用状況調査) 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響による営業自粛により、市内飲食店等は経営継続に苦慮されている状況。そのため、今年度地元水産物の利用状況アンケートを計画していたが、実施を見送ることとした。	R2年度に実施できなかった地元水産物の利用状況アンケートを、R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響の状況を見て実施する。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活様式が変化してきている。 この「新しい生活様式」に対応するために、通販・持ち帰り可能品等の製品を考えていく必要があるが、商品開発には事業者の方の協力が必要不可欠であるので、関係機関と連携して協力事業者を探していく。 外食産業の停滞による影響を強く受ける養殖魚等(内水面養殖業含む)について、今年度は県が主導して学校給食への活用を実施したが、引き続き厳しい状況である。 今後は国・県支援策を参考に市で対応できることも早急に検討し、実施していく。
	2. 高知県漁協手結支所の販売額 県内外の取引先との取引継続 【目標値】 販売額：5,100万円 10月末実績：3,537万円(前年同月比:87.9%) 【実施主体】 高知県漁業協同組合 手結支所 (高知県・香南市) 【連携する分野】 県 物産部川アクションプラン NO.10 シイラ等の水産物加工による外商の拡大	【当初】 【県漁協手結支所販売事業の支援】 R2: 香南市産業振興計画施設等整備事業費による「自動真空包装機」の導入 : 県版HACCP取得(県支援制度活用) 【10月末までの取り組み状況】 県漁協手結支所との協議により、今年度の真空包装機の導入については見送ることとなる。 ※ R3年度に実施を予定	当初は新型コロナウイルス感染症の影響により大口取引先との取引量が大幅に減少していたが、8月頃から回復、また卸売業者との取引を開始し、昨年度同月比87.9%となっている。 このことから、漁協の市場への影響力がある程度保持され、浜値の下支え機能の維持に繋がっている。	漁協取扱数量の維持に向けて、取引先からの様々なニーズに対応できるよう体制の構築を目指す。
3. シラス加工品販売額 【目標値】 販売額:〇万円/社 を決める 10月末実績：未実施 【実施主体】 シラス加工業者 (高知県・香南市) 【連携する分野】 商業分野	【当初】 【シラス魚価向上につながる加工業者へのヒアリングの実施】 R2: 県版HACCP取得(県支援制度活用) : どのような取組が必要であるかのヒアリング ⇒ まとめ ⇒ 取組決定 【10月末までの取り組み状況】 ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う加工業者への影響ヒアリング ・県9月補正「食品加工施設緊急整備事業費補助金」等、新しい生活様式に対応した商品開発・衛生管理に必要な機器整備等の支援策を各加工業者へ周知。	加工業者への制度周知に回ったが、県9月補正の「食品加工施設緊急整備事業費補助金」については、衛生管理基準の向上等の要件のハードルが高く、なかなか手をあげていく加工業者が少ないのが現状であった。 「香南市産業振興計画推進事業費補助金」については、販売額の増加により魚価向上に繋げていくという、市産業振興計画水産業分野の目標に合致しているということで、現在2件の相談を受けている状況である。	目標値としてのシラス加工品販売額については、加工業者へのヒアリングを実施し、協力いただける部分については今後は統計をとれる体制としていく。(市補助金活用業者を想定) 加工品販売促進と関連して、船主会への新規漁業就業者支援制度の説明を実施した際に、「買取価格が上がらないと漁業をやろうとは思わない。」「新規漁業就業者への支援より加工業者への支援も検討する必要がある。」との意見があったことから、既存の「香南市産業振興計画推進事業費補助金」で支援を行うことも考えながら、水産加工業に特化した、機器整備のみではなく、衛生管理向上、新商品開発、販売促進を含めた補助制度を策定していく。	

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
流通・販売の強化	◆ 学校給食等への納入			
	1-1. 学校給食等への納入 (かちりじゃこ)	【当初】 【市内水産物(かちりじゃこ)の給食センターへの納入促進】 ※ R2.2月に試験的な納入開始予定	R2.2月より試験的な導入を開始したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の学校が長期の休校となったこと等もあり影響が心配された。しかし、10月末現在ですでに計画を上回っており、順調に推移している。	今後も継続して納入していくため、給食センターや地産地消推進協議会、納入業者と定期的に情報交換を実施し、より安心・安全な地元水産物を提供していく。 また、給食で使用される市内産の魚について広く知っていただくために、香南市の漁業についての動画を作成し、各学校に配布していく。
	【目標値】納入回数(16回) 10月末実績：30回	R2:16回/年 (1回/月×8ヵ月(6~9月納入なし)×2センターで算出) R2:第1期香南市産業振興計画の取組の中で、納入不可とされた加工業者との調整を行うことで利用件数の増加を図る。		
	【実施主体】 市内加工業者 香南市 (地産地消推進協議会・給食センター等)	【10月末までの取り組み状況】 こうなん 15回納入 赤岡・吉川 15回納入		
【連携する分野】 -				
1-2. 学校給食等への納入 (シイラ)	【当初】 【市内水産物(シイラ)の給食センターへの納入継続】	春先は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の学校が長期の休校となったこと等もあり影響が心配された。しかし、10月末現在で昨年度より2回増加しており、順調に推移している。		
【目標値】納入回数(22回) 10月末実績：15回(前年同月:13回)	R2:22回/年 (H27~H30平均納入回数 21回) ※献立により上限はあるが、使用頻度の増加を図る。			
【実施主体】 高知県漁業協同組合 手結支所 香南市 (地産地消推進協議会・給食センター等)	【10月末までの取り組み状況】 こうなん 5回納入 赤岡・吉川 10回納入			
【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.10 シイラ等の水産物加工による外商の拡大				
担い手の確保	◆ (一社)高知県漁業就業支援センターとの連携による担い手確保			
	1. 担い手の確保事業 (自営漁業者育成事業) (漁家子弟支援事業) (雇用型漁業支援事業)	【当初】 R3.3末:就業希望者への主要漁業種別の生活プランの作成 → R4.4以降(一社)高知県漁業就業支援センター実施のフェア等への参加	今後、(一社)高知県漁業就業支援センターHPに掲載する香南市の紹介ページの素案を作成中。 R2度中の掲載を目指す。	今後も、引き続き、(一社)高知県漁業就業支援センターとの連携により、就業希望者へ広く周知をしていく。
【目標値】就業者数:1人 10月末実績：0人	R2.8~:各種支援制度の説明会の開催 (年1回程度 既存漁業者対象)	12月より吉川において、1名短期研修を開始しており、R3.1月より「雇用型漁業支援事業」を活用していく予定。 市内漁業形態では1人での操業が厳しい状況であるが、今回当市で初めて雇用型での新規漁業就業者であり、今後の就業者確保の先進的な事例となる。		
【実施主体】 香南市 (一社)高知県漁業就業支援センター 高知県漁業協同組合・漁業者	※市内漁業形態では1人での操業が厳しい状況であり、雇用型・漁家子弟での確保を目指す。	現在の「雇用型」「漁家子弟」の支援制度は1年間の支援であり、漁業を習得するには期間が短いとの意見がある。		
【連携する分野】 農業分野、林業分野、住宅分野	【10月末までの取り組み状況】 9月 吉川パッチ網船主会総会での就業支援制度の説明を実施 10月 (一社)高知県漁業就業支援センターホームページに10月より求人情報を掲載(2経営体:雇用型)			

令和2年度の取り組み計画 【商業分野】

	R2年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評価	備考
商業者数 (事業所)	813事業所	-	-	
新規事務系企業数 (企業/年)	2社	1社	-	

※ 商業者数は、香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準産業分類(大分類)のF～O・Q・Rに分類される事業所数。
H30年の基準値813事業者から年間の創業者数が廃業者数を上回るように目標数値を設定

※ 新規事務系企業数は、香南市内の空き店舗等を活用し、市内住民を雇用することを前提に、首都圏等から進出していただく新規事務系企業数。

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)

<p>【R2.4月～10月末の取組について】(P・D・C) 商業者数については、まだ商工会での集計・公表等がされていないため、R2年10月末現在の評価は示していない。 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業者等への支援事業を優先したことから、当初予定していた今年度の事業を見送っている。 システム開発及び運用、データ入力事業を手掛ける合同会社NGS(本社:東京都世田谷区)が、R2.4.1に道の駅やすE棟へオフィスを開設した。 今後は市内における若者の雇用拡大等、産業振興への寄与が大きく期待される。 香南BIGカーニバル事業については、コンビニのオンラインシステムを利用した申込方法を採用し、延べ7,000人程度の申込があり、市内外の多くの方にバルチケットを購入いただいた。</p> <p>【R3年度の取組について】(A) 「空き店舗活用に向けた取り組み」については、R2年度に実施予定だった空き店舗等の調査を実施し、市内空き店舗等の現状を把握し、空き店舗バンク等の創設を行う。 また、事務系企業の誘致に向けて、イシン(株)等と連携した首都圏企業への訪問等を新型コロナウイルス感染症の動向をみて実施する予定。 「担い手確保に向けた取り組み」については、空き店舗調査に合わせて、市内事業者へのヒアリング等を行い、人材ニーズの掘り起こしや事業承継の意識調査等を実施する。 「商業支援」については、香南カーニバルを継続又は新たな商業イベントの実施に向けた協議を行っていく。 また、引き続き、事業者向けセミナーを開催し、市内事業者のスキルアップ等を図っていく。</p>

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
空き店舗活用に向けた取り組み	<p>◆ 空き店舗対策</p> <p>1. 商店街等振興計画の策定</p> <p>【目標値】計画の策定 10月末実績：-</p> <p>【実施主体】 香南市 香南市商工会 地域商業者</p> <p>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興</p>	<p>【当初】 地域商業を活性化させるために中心市街地を核にした振興計画を策定する。</p> <p>R2.5月から協議会及びWGのメンバー等選定 R2.8月から定期的に協議会、WGを実施 R3.1月に当計画を策定</p> <p>【10月末までの取り組み状況】 R2.6月に高知県と策定に向けた事前協議を実施。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による事業者支援等を優先したため、計画策定に向けた具体的な取り組みができていない。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、市商工会や県等と協議を行いながら、策定に向けた取り組みを進める。</p>
	<p>2. 空き店舗実態調査の実施</p> <p>【目標値】調査の実施 10月末実績：-</p> <p>【実施主体】 香南市 香南市商工会</p> <p>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興</p>	<p>【当初】 市内全域の空き店舗数や形態に関する実態調査を実施する。</p> <p>R2.4～6月に臨時職員の応募及び雇用、チェックシートの作成 R2.6月より調査開始 R2.11月 中間とりまとめ R3.3月 最終結果とりまとめ</p> <p>【10月末までの取り組み状況】 R2.3月下旬から5月上旬まで、会計年度任用職員の募集を実施</p>	<p>会計年度職員1名の募集をハローワークを通じ行ったが、応募がないことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済対策事業を優先することとしたため、R2年度は、雇用を行わず、事業の実施を見送ることとした。</p>	<p>できるだけ早く会計年度任用職員の募集等を実施する等、事業開始に向けた準備を進める。</p>
	<p>3. 空き店舗バンク事業</p> <p>【目標値】登録のスキームを作る 10月末実績：-</p> <p>【実施主体】 香南市 香南市商工会</p> <p>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興</p>	<p>【当初】 空き店舗情報を一元化し発信する仕組みづくりを構築する。</p> <p>R2.5月から9月に宅建協会や地域支援課等と協議を行う R2.11月空き店舗バンク要綱等制定 R2.12月より空き店舗バンク開始(市HP等を活用し情報発信)</p> <p>【10月末までの取り組み状況】 空き店舗実態調査の実施ができていないため、具体的な取り組みを行えていない。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による事業者支援等を優先したため、空き店舗バンク創設に向けた具体的な取り組みができていない。</p>	<p>できるだけ早く会計年度任用職員の募集等を実施する等、事業開始に向けた準備を進める。</p>

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
空き店舗活用に向けた取り組み	4. 空き店舗等対策事業 (空き店舗等対策事業費補助金) 【目標値】 補助金利用件数(2件) 10月末実績：0件 【実施主体】 香南市 香南市商工会 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興	【当初】 空き店舗を活用した創業を支援する。 市HPや広報誌での情報発信 不動産業者や金融機関への補助事業の説明 【10月末までの取り組み状況】 ・市HPへの掲載 ・問い合わせ：1件	問い合わせは1件あったものの、業種が合致せず申請に至っていない。	本補助金は、定められた業種のみが対象となっているため、空き店舗を活用した創業であれば、できるだけ幅広い業種が補助対象とできるように要綱改正を行う。 (改正予定内容) 現要綱では、日本標準産業分類の中分類等で詳細に業種を指定しているが、日本標準産業分類の大分類(F~O、Q・R)に変更し、幅広い業種を対象とする。
	5. 空き店舗等を活用した新規事務系企業の誘致 【目標値】 誘致企業数(2件) 10月末実績：1件 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興	【当初】 地方への進出を検討している首都圏企業に対して、補助制度や物件等を提供することで、市への企業誘致を図る。 イシン(株)との連携による首都圏企業訪問(3回) 空き店舗等の物件調査(随時) 香南市情報サービス施設等設置促進事業費補助金の活用 【10月末までの取り組み状況】 ・合同会社NGSが道の駅やすE棟に立地(4/1操業開始) 地元雇用2名(7月末時点) ・オンライン交流イベント(ITの仕事×ライフスタイル)への参加7/29	新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏企業訪問は実施できていない。 また、4月に予定していた立地検討企業による香南市視察も延期となった。	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、首都圏企業訪問を実施するとともに、オンラインによる企業誘致活動を行っていく。 引き続き、立地企業の雇用支援(市HPや広報誌等)を実施する。
担い手確保に向けた取り組み	◆ 担い手の確保・育成			
	1. 事業承継の推進 【目標値】 アンケート調査の実施 10月末実績：0件 【実施主体】 香南市 香南市商工会 【連携する分野】 工業分野、観光分野 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興	【当初】 空き店舗実態調査とあわせて、既存事業者に対してアンケート調査及びヒアリング調査を実施。 事業承継ヒアリングシートの作成 R2.6月より調査開始 適宜、事業者の同意が得られれば、事業引継ぎ支援センター等への情報提供を行う 【10月末までの取り組み状況】 ・R2.3月下旬から5月上旬まで会計年度任用職員の募集を実施	空き店舗実態調査と合わせ実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済対策事業を優先することとしたため、R2年度は、雇用を行わず、事業の実施を見送ることとした。	できるだけ早く会計年度任用職員の募集等を実施する等、事業開始に向けた準備を進める。
	2-1. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 (香南市未来人材育成奨学金返還助成事業費補助金) 【目標値】 利用件数(5件) 10月末実績：0件 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 工業分野、観光分野	【当初】 人材の確保と市への定着を図る事を目的に、市内に事業所等を有する事業主に雇用され、又は本市において起業する方を対象に、借り入れた奨学金の一部を助成する。 (返還奨学金の1/2又は就労期間に10,000円を乗じた額のいずれか少ない額 ※最長8年間) ・企業訪問や懇談会での事業紹介を行うとともに、商工会や県内の学校と連携し利用促進を図る。 【10月末までの取り組み状況】 ・R2年4月1日付けで補助金交付要綱の一部改正(改正内容:対象年齢引き上げ) ・市HP掲載 ・企業訪問による事業案内	補助金の交付要綱を一部改正し、対象者の範囲を広げたが、申請に至っていない。 今年度は市内企業21社に対して企業訪問を実施しており、当事業の説明を行い周知を図った。 R2.12月:申請を1名受理。(R2.4~就労・新卒者)	引き続き、企業訪問、懇親会等で事業者、学生双方に事業紹介を行うことで利用件数の増加を図る。 R3年度以降に、当補助金の利用に対する感想等を伺い、生の声を周知していきたいと考えている。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
担い手確保に向けた取り組み	2-2.人材ニーズの掘り起こし及び発信 【目標値】 仕事情報件数 (5件) 10月末実績： 0件 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 農業、林業、水産業、工業、観光分野、移住 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興	【当初】 空き店舗実態調査とあわせて、市内事業者が求める人材ニーズや仕事内容の調査を行い、移住フェア等で発信する。 R2.6月より調査開始 適宜移住フェア等での発信や無料職業紹介所への掲載を行う 【10月末までの取り組み状況】 ・R2.3月下旬から5月上旬まで会計年度任用職員の募集を実施	空き店舗実態調査と合わせ実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済対策事業を優先することとしたため、R2年度は、雇用を行わず、事業の実施を見送ることとした。	できるだけ早く会計年度任用職員の募集等を実施する等、事業開始に向けた準備を進める。
	3. 創業支援事業計画の見直し 【目標値】 創業者数(6件) 10月末実績： 2件 【実施主体】 香南市 香南市商工会 【連携する分野】 工業分野、観光分野	【当初】 市が創業支援事業者(商工会、金融機関等)と連携し、専門家による支援等を実施し、創業される方や創業後間もない方を支援する計画。 (特定創業支援事業の認定を受けることで登録免許税の減額等の措置がある) ※H28年度に策定した創業支援事業計画の認定期間終了に伴い、計画の見直しを実施する。 【10月末までの取り組み状況】 ・計画期間延長に向けて申請書類等を国へ提出	既存計画の計画期間終了に伴い、計画期間の延長を行った。	本計画に基づく創業支援を受けることのメリットを金融機関等に対して周知し、本計画を活用した創業を促進する。
	4. 創業支援利子補給金事業 【目標値】 利用件数(3件) 10月末実績： 0件 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 - 工業分野、観光分野	【当初】 市内金融機関から創業向け融資を受けた創業者が支払った利子のうち年利1%に相当する額を補給する。 (補給対象期間は償還開始日から2年間で1事業者につき年間10万円を上限) 市HPや広報誌等での情報発信や金融機関への紹介を行い、創業者による利用の促進を図る 【10月末までの取り組み状況】 ・市HPへの掲載 ・金融機関への周知	申請期間がR3年1月中のため、実績は0件となっている。金融機関等の創業支援機関に対して本事業の周知を徹底する必要がある。	商工会や金融機関等と連携し、事業の周知を図り、創業時の負担を軽減する。
商業支援	◆ 商業支援			
	1. 緊急融資保証料補給金事業 【目標値】 新規利用件数(1件) 10月末実績： 0件 【実施主体】 香南市 高知県信用保証協会 【連携する分野】 工業分野、観光分野	【当初】 市内中小企業者が県緊急融資を受けた場合、融資に必要な信用保証を行う県信用保証協会に対して補給する。 商工会や金融機関等と連携し、必要としている事業者に周知を図る市HPや広報誌での情報発信 【10月末までの取り組み状況】 ・高知県信用保証協会と契約締結 ・市HPへの掲載 ・新型コロナウイルス感染症の影響によるセーフティネット保証の認定(191件)	新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ対策の融資制度(無利子・無保証料)が打ち出され、新規の利用はなし。	引き続き、市内事業者の資金繰りを支援するために、商工会等と連携し、本事業の周知を図る。
	2. 各種セミナーの開催 【目標値】 開催数(2回) 10月末実績： 2回 【実施主体】 香南市 香南市商工会 【連携する分野】 工業分野、観光分野	【当初】 経営等に関する様々なセミナーを開催することで、経営者や従業員のスキルアップを図り、事業の維持・発展につなげる R2：2回実施 【10月末までの取り組み状況】 ・JPQR説明会の実施(11/9:参加事業者数 5者) ・HP作成講習会の実施(9/24~11/26計5回:参加事業者数 29者) ・各機関が行うオンラインセミナーの周知	参加したいと思えるような魅力ある内容のセミナー等を開催していく必要がある。	引き続き、市内事業者に対してセミナー等を開催することで、経営者等のスキルアップを図り、事業の維持・発展につなげる。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
商業支援	3. 香南カーニバル事業 【目標値】参加店舗数(45軒) 10月末実績：83軒 【実施主体】 香南市商工会 地域商業者 【連携する分野】 農業分野、水産業分野、 観光分野	【当初】 商業の活性化を目的に、主に飲食店を中心に短期間のグルメイベント「香南カーニバル」を継続して開催する。 新聞折込、HPやSNSを活用した情報発信 他市との差別化を図るために、協賛企業提供による協賛品の特典を継続 女性限定メニューや市特産品を活用したメニューを取り入れた店舗の継続 タクシーへの利用可能を継続し、周遊を促進 ※R3以降に同内容のバルイベント開催は未定であるが、活性化に向けた商業イベントを実施予定 【10月末までの取り組み状況】 ・香南バル実行委員会の開催 ・新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている飲食業等を強力に支援するため、これまでのバルとは異なった形で実施。 ・7,000円分のチケットを3,000円で購入できる。 (うち1,000円はタクシーチケットとして利用可) ・こじゃんとやほっとこうち、SNS等を活用した事業周知	特に飲食業等が新型コロナウイルス感染症の影響を受けているため事業の継続と市民等の外食控えを強力に後押しするため、プレミアム付商品券の飲食版の形で香南カーニバルを実施することとしたため、参加店舗数が大幅に増加した。 新型コロナウイルス感染症対策として、主にオンラインシステムを活用した販売を実施した。 当事業はH30年度より開催され、今回を含め3回の事業を実施してきた。 R2年度の事業は、過去2回の事業と異なる事業内容だったため、本事業自体を継続するのか、新たな商業イベントを実施するか、事業の在り方に関して商工会と協議する必要がある。	R2年度の取り組みを踏まえ協議を進め、開催につなげる。
	4. 地場産品販売促進事業 【カタログ販売額+ふるさと応援寄付金事業】 【目標値】事業者売上額:100,940千円) 10月末実績：73,890千円 (前年同月比158.5%) 【実施主体】 香南市観光協会 香南市 【連携する分野】 農業分野、水産業分野、観光分野 県物部川アクションプラン NO.14 香南市における特産品づくりと販売の促進	【当初】 R2 カタログ4,400千円 + ふるさと納税額 100,500千円 計 100,940千円 R2:県内外のイベント等での特産品販売を行うとともに、各種ふるさと納税サイトやカタログ等のPR冊子で情報発信することで商品や市の認知度向上を図る。 コラボ商品や季節商品の企画による商品数の増加を図り、魅力度向上を図る。 【10月末までの取り組み状況】 ・新たな事業者開拓(新規参加事業者13社)や季節商品(25商品)の開発 ・れんけいこうち事業等を活用した販路開拓 7/12 日曜日 ・国産農林水産物等販売促進緊急対策事業の活用 ・新ギフトカタログ発行(10,000部) ・イベント出店で特産品やカタログ、ふるさと応援寄附PR 10/17-18 TOYOTAヤ・シイらんど	新型コロナウイルス感染症の影響で、取り寄せが身近になったことで安定して売上が向上している。 また、カタログ・WEB販売ではテレビで紹介された商品や自動車ディーラーの成約特典で採用された商品があったことで、売上増につながった。 10月より、数件イベントが開催されるようになり、特産品やギフトカタログ、ふるさと応援寄附のPRができた。 県版HACCP義務化に向けて、出店事業者をターゲットとして県版HACCP研修を2月に実施する予定。	ECサイト「土佐香南まるごと旨市」の利便性や魅力等を向上させるリニューアルを行い、ECサイトを活用した売上増加を図る。 また、積極的に参加事業者に声かけ等を行い季節商品やコラボ商品の開発を行い、リピーターを離さないように取り組む。

	R2年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評価	備考
製造品出荷額	360億円	— 億円	—	
新規雇用者数	5人	25人	A	

※ 製造品出荷額は、工業統計調査(調査年は前年度の製造品出荷額)のR元年工業統計結果

※ 新規雇用者数は、市内立地企業に新たに雇用された市在住の方の数

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)

<p>【R2.4月～10月末の取組について】(P・D・C) 製造品出荷額360億円の目標値に対し、令和元年実績の工業統計調査結果は未だ公表されていないことから、R2年10月末現在の評価は示していない。 また、新たな数値目標である新規雇用者数については、4月1日現在の16人に加えて、10月1日現在で9名の新規雇用があり、計25名となっている。 戦略の柱である「企業誘致の促進」については、川谷刈谷地区工場用地の分譲を10月より開始し、申し込みを1件受理している。 「既存企業の育成・支援」については、企業訪問にて新型コロナ関連の施策を含め各種事業周知を行った。</p> <p>【R2.10月以降の取組について】(A) 「企業誘致の促進」については、新規工業団地の決定及び川谷刈谷地区工場用地の分譲を年度内に行う。また、企業誘致支援制度の見直しとして、立地企業の設備投資に伴う負担の軽減、事業支援を図る香南市企業立地促進事業費補助金をR3年度施行予定で制定する。 「既存企業の育成・支援」については、支援を継続して行うとともに、市内経済の活力再生に繋がる新たな支援策の具現化に努める。また、合同企業説明会を開催し、雇用支援にも取り組んで行く。</p>

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R2年度の目標値【P】 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
企業誘致の促進	◆ものづくりの基盤整備			
	1. 新規工業団地整備事業 【目標値】 工業団地の選定 10月末実績： - 【実施主体】 香南市 高知県 【連携する分野】 -	【当初】 新規工業団地を整備するため、候補地の選定と適地調査を行う。 R2：工業団地適正地検討資料作成委託業務 工業団地基本構想委託業務→R3年度に繰越 【10月末までの取り組み状況】 ・工業団地適正地検討資料作成委託業務完了(9/25) ・2次選定に5箇所の候補地を抽出	1次選定された7箇所の候補地の立地や有効面積、法規制の状況を整理し、共同開発を予定している県と協議を行ったうえで、2次選定の候補地5箇所を選定した。 ※2次選定に抽出された5箇所の候補地について、以下の①～④に重点をおいて新規工業団地の場所を決定する。 (R2年度中に決定予定) ①面積 ②概算工事費 ③法指定状況 ④交通アクセス	新たな工業団地を整備するため、候補地の造成基本設計を実施 (高知県工場用地整備事業費補助金を活用) ①周辺条件の把握及び土地利用条件等検討 ②用地区画、公共施設配置計画案作成 ③整地及び防災基本設計 ④団地造成計画区域内の道路・排水・公園・緑地基本計画の検討 ⑤工事費の概算算出 ⑥施工年次スケジュール作成
	2. 川谷刈谷地区工場用地の分譲 【目標値】 分譲件数 1件 10月末実績： - 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	【当初】 川谷刈谷地区工場用地(旧ルネサス東駐車場用地)への企業誘致を実施。 R2.4 : 公募開始予定 (分譲開始予定) R2年度中：分譲完了を目指す 【10月末までの取り組み状況】 ・財産の処分議案を9月議会に提出(9/24議決) ・R2.10月～11月 公募開始(1件)	分譲地の地積更正及び合筆手続きの完了後、以下の①～④の内容で財産の処分議案を9月議会に提案し、10月より公募を開始した。 【財産処分議案及び公募内容】 ①地目：雑種地 ②所在：香南市香我美町徳王子字関屋123番他5筆 ③面積：9,763㎡ ④金額：97,630千円(㎡当たり10,000円) 公募期間中に分譲申込書を1件受理済。 今後は以下のスケジュールで年度内の分譲完了を目指す。 【今後の分譲スケジュール】 ①R3.1月 選定審査委員会 ②分譲候補者を選定後、市長に上申 ③市長が譲受人を決定し、分譲契約を締結	分譲後も立地企業の円滑な操業開始となるよう設備投資支援や企業説明会・面接会を開催し、雇用の促進と生産性の向上に繋がる支援を行っていく。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R2年度の目標値【P】 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
企業誘致の促進	◆ 企業誘致支援制度の見直し			
	1. 香南市企業誘致条例の改正 【目標値】 条例の改正 10月末実績：-	【当初】 以下の現行の支援制度の見直しを行う。 (※ R3年度より新支援制度施行予定) ・香南市企業誘致条例による助成金(固定資産税の25%(3年間)) ※要件: 投下固定資本額3千万以上、市内在住者及び在住予定雇用20%以上 【10月末までの取り組み状況】 ・他市町村の企業誘致条例や支援制度の情報収集	更なる製造品出荷額の増加を図るため、立地企業の設備投資に伴う負担を軽減し、雇用の創出や生産性の向上、 税金の確保に繋がる支援制度を策定する必要がある。	香南市企業立地促進事業費補助金を制定予定 要件: 投下固定資本額 1,000万円以上 市内在住新規雇用者数: 新設2名、増設1名 補助額: 用地取得の1/4(上限2,000万円) 減価償却資産の1/2(上限1,000万円)
	【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -			
既存企業の育成・支援	◆ 中小企業の技術向上&経営革新の支援			
	1. 商談会開催事業 【目標値】 商談件数(50件) 10月末実績：19件 【実施主体】 香南市 (公財)高知県産業振興センター 【連携する分野】 -	【当初】 市内のものづくり企業に高知県産業振興センターが主催する商談会への参加を促し、受注拡大を図る。 【10月末までの取り組み状況】 開催回数6回 うち市内企業参加4回(広島県、福岡県、滋賀県、大阪府)	新型コロナの影響で7月から事業開始し、12月までで7回実施している。 今年度は最大8~9回の実施を予定。	引き続き高知県産業振興センターと連携するとともに、企業訪問等により商談会参加を促すことで受注拡大と販路拡大を図る。
	2. 中小企業者の生産性向上支援事業 【目標値】 先端設備等導入計画認定件数(30件) 10月末実績：10件 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	【当初】 市内の中小企業者等が、年3%以上の「生産性向上に繋がる設備計画(先端設備等導入計画)」を策定し、市の認定を受けたうえで実施する設備投資に係る固定資産税率を3年間ゼロにする。 ・先端設備等導入計画の認定(受付期間はR3年3月31日まで) ※R2年度受付分で固定資産税の特例措置は終了となる。 ・企業訪問や懇談会等で事業紹介を行うとともに、香南市商工会と連携して利用の促進を図る。 【10月末までの取り組み状況】 ・企業訪問による事業紹介 ・先端設備等導入計画認定件数10件 ・香南市先端設備等導入支援事業費補助金(3件)	新型コロナウイルス感染症の影響による企業の設備投資の減少や、また周知不足により、目標値に届いていない。	香南市先端設備等導入支援事業費補助金により、企業の設備投資に係る負担を軽減することで認定件数の増加を図る。 ・企業訪問や懇談会による周知 ・商工会と連携し、商工会会員への周知
3. 香南市産業人材育成事業 (香南市産業人材育成事業費補助金) 【利用件数(件)】 【目標値】 利用件数(5件) 10月末実績：- 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 商業分野	【当初】 市内に事業所がある事業主や従業員等を対象に、人材育成に係る研修への参加、講師招聘に係る経費について、1事業所あたり年間20万円を上限として補助する。(補助率1/2) ・企業訪問や懇談会等で事業紹介を行い、利用促進を図る。 ・高知職業能力開発短期大学校が開催する人材育成研修の利用促進を図る。 【10月末までの取り組み状況】 ・企業訪問による事業案内 ・補助申請3件	高知職業能力開発短期大学校と連携することで3件の事業利用に繋がった。	企業訪問、企業合同説明会等で周知を行うとともに、引き続き高知職業能力開発短期大学校と連携し、事業利用件数の増加を図る。	

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R2年度の目標値【P】 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
既存企業の育成・支援	4. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 (香南市未来人材育成奨学金返還助成事業費補助金)	【当初】 人材の確保と市への定着を図る事を目的に、市内に事業所等を有する事業主に雇用され、又は本市において起業する方を対象に、借り入れた奨学金の一部を助成する。 (返還奨学金の1/2又は就労期間に10,000円を乗じた額のいずれか少ない額 ※最長8年間) ・企業訪問や懇談会での事業紹介を行うとともに、商工会や県内の学校と連携し利用促進を図る。	補助金の交付要綱を一部改正し、対象者の範囲を広げたが、申請に至っていない。 今年度は市内企業21社に対して企業訪問を実施しており、当事業の説明を行い周知を図った。 R2.12月:申請を1名受理。(R2.4~就労・新卒者)	引き続き、企業訪問、懇談会等で事業者、学生双方に事業紹介を行うことで利用件数の増加を図る。 R3年度以降に、当補助金の利用に対する感想等を伺い、生の声を周知していきたいと考えている。
	【目標値】 利用件数(5件) 10月末実績:- 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 商業分野、観光分野	【10月末までの取り組み状況】 ・R2年4月1日付けで補助金交付要綱の一部改正 (改正内容:対象年齢引き上げ) ・市HP掲載 ・企業訪問による事業案内		
	5. 合同企業説明会の開催	【当初】 企業合同説明会を開催することで、立地企業の魅力を紹介するとともに、円滑な人材確保の支援と若者の地元定住を図る。 ・R2年8月(予定): のいちふれあいセンターで企業説明会を実施 ・R3年2月(予定): 高知県立城山高等学校で企業説明会を実施	城山高校での合同企業説明会は2年生を対象とし、就職の選択肢の一つとして市内企業を存知してもらう。 ※ 城山高校での合同企業説明会 (R3.2.10予定) ※ 1月中旬までに参加企業のとりまとめ	・合同企業説明会の開催 (R3.9.10を予定) ・城山高校での合同企業説明会を実施予定 ※時期は調整中
	【目標値】 開催回数(2回) 10月末実績:- 【実施主体】 香南市 高知県 【連携する分野】-	【10月末までの取り組み状況】 ・合同企業説明会の開催 (9/18) 説明企業8社 (内市内企業 6社) 参加者数17人 (R元年実績: 48人)		
	6. ものづくり教育推進事業	【当初】 次代を担う小中学生や高校生を対象に、工場見学の開催および「ものづくり体験学習」を実施し、地元企業との接点を設けることで地元の仕事を知り、地元で暮らすイメージを強めてもらう。 ・R2年度中に実施(1回)	新型コロナの感染拡大の恐れがあるため、今年度は見送っている。	夏休み期間中に市内小学生を対象とした市内工業団地、工場を複数巡る工場見学ツアーを実施予定。
	【目標値】 工場見学やものづくり体験学習 実施回数(1回) 10月末実績:- 【実施主体】 香南市 【連携する分野】-	【10月末までの取り組み状況】 ・企業訪問による事業案内		

令和2年度の取り組み計画 【観光分野】

	R2年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評価	備考
観光施設入込客数	107万人	74.0万人	-	

※ 観光庁の「観光客入込客統計に関する共通基準」に該当する下記対象施設の入込客数。(暦年1-12月の合計)

【対象10施設】

①県立のいち動物公園:114,426人 ②月見山子どもの森:19,774人 ③ヤ・シィパーク:251,851人 ④絵金蔵:3,061人 ⑤天然色市場:0人
⑥やすらぎ市:172,098人 ⑦あぐりのさと:15,058人 ⑧黒潮温泉:71,894人 ⑨創造広場「アクトランド」:44,185人 ⑩土佐カントリークラブ:47,380人

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)

【R2.4月～10月末の取組について】(P・D・C)
数値目標107万人に対し、実績値は74.0万人(達成率69%)となっており、前年度比85%となっている。(前年度同時期 87.1万人)
新型コロナウイルス感染症の影響により、4月から6月までは厳しい推移であったが、遊ぼう割等の取り組みもあり、7月から10月の実績値は31万人と前年度比95%まで回復している。
(前年度同時期 32.6万人) (3月から6月は、前年度比68%)
しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光人口の減少やイベントの中止等が多く、KPIに影響を及ぼしている。

【R3年度の取組について】(A)

R3年度も新型コロナウイルス感染症による観光産業への影響が予想される。
国のGoToトラベル事業はR3年6月末まで延長予定であることから、市としても観光需要喚起策として必要な施策を検討・実施し、観光産業の需要回復を図る。
また、休業となっていた天然色市場の運営者が決定したことから、R3年度の数値目標に反映される見通しである。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】 原因及び課題(分析)	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野			R3年度に向けて
香南市観光の発信	◆ 情報発信手段の効果的な活用			
	1. 香南市のPR活動の強化 【目標値】 イベント参加数 25回 (日曜日 + 高知新港PR 参加回数) 10月末実績: 日曜日 3回 【実施主体】 香南市 (一社)香南市観光協会 【連携する分野】 -	【当初】 観光客や外国人の来訪が期待される日曜日と高知新港へのイベント出店による観光・特産物PRで香南市の認知度向上につなげる。 【日曜日】 : R2年度 … 15回 /年 【高知新港】 : R2年度 … 10回 /年 【10月末までの取り組み状況】 【日曜日】3回(7/12、8/2、9/13) 7月12日の出店ではエコバック有料化に伴い、制作したこーにゃんのエコバックをお買い物をしてくださった方にプレゼントした。 【高知新港】寄港自体がなかったため出店も無し。	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、日曜日は4月19日の開催が中止となった。 また、5月10日から5月31日までは時短営業を実施していることから、市町村からの出店については自粛要請があったので出店していない。 (県内の感染状況が落ち着いていることから6月7日から日曜市の通常営業に伴い市町村からの出店も再開している) 高知新港でのイベント出店も6月5日に出店できる旨を連絡していたがその後の連絡がなくキャンセル。 以降新型コロナウイルス感染症の影響により、高知新港への寄港がないため、行っていない。	新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、事業を実施していく。 市HPに日曜市の出展者募集を掲載し、出展数の増加を図る。 (参考:R2年度実績) 日曜日 :11/15、12/27に参加 高知新港 :11/30に参加、12/16は感染拡大のため不参加
	2. 香南市のPR活動の強化 【目標値】【HPアクセス件数 (125,000件)】 (香南市観光協会HP + Guidoor(多言語観光サイト)の合計) 10月末実績: 訪問者 32,665件 閲覧数 59,342件 【実施主体】 香南市 (一社)香南市観光協会 【連携する分野】 -	【当初】 コンテンツの充実を行うとともに、香南市全体の観光情報・イベント情報を更新および発信するとともに、HPへのアクセスを誘導するステッカー・ポスターを配布し観光情報を広く発信する。 R2 :タブレット端末からの閲覧・外国語に対応したHP作成 (事業主体:(一社)香南市観光協会) R2.6 :Guidoor(多言語観光サイト)への香南市ページ開設(事業主体:香南市) 【10月末までの取り組み状況】 香南市で遊ぼう割のキャンペーンの特別ページを作成。 利用申込書(ワード・PDF)の個人・団体用の用紙をダウンロードができるように準備。 9月29日に高知新聞に遊ぼう割の記事を掲載していただいた日のアクセスは821件。 また、10月2日の高知新聞への遊ぼう割のチラシ折込日のアクセスは599件と伸びた。	HPトップページ情報はこまめに更新。 検索したときに最新情報がわかるように取り組んでいる。 例年HPへのアクセスは、祭りやイベントの日が多くなるが、今年はイベントがない分アクセス数は減っている。 しかし、香南市で遊ぼう割が新聞に掲載・折込をした日はアクセスが増えた。 遊ぼう割の体験プログラムを組み合わせたモデルコースをいくつか作成し、掲載・発信していく。 HPリニューアルに向けては準備中である。	理想のHPの内容等を整理し、業者選定及びリニューアル事業を実施する。
3. SNSを活用した情報発信 【目標値】【フォロワー数 (3,500人)】 (LINE + Insutagram + Facebook) ※ 香南市観光協会の各SNSを対象 10月末実績: 4,152人 LINEターゲット 522 (フォロワー935) Insutagram (12/18まで) 1,023 Facebook 観光協会 フォロワー 851 Facebook 塩の道 フォロワー 1,201 Facebook こーにゃん フォロワー 506 Facebook マリンフェスティバル フォロワー 49 【実施主体】 (一社)香南市観光協会 【連携する分野】 -	【当初】 様々なツールを用いた情報発信を行い、香南市の観光情報・イベント情報をリアルタイムで発信する。 R2 : 閲覧数や「いいね」の数等傾向を分析・把握し、フォロワーのニーズに即した訴求力の高い情報を発信する。 【10月末までの取り組み状況】 10月末締めではないがInstagramのフォロワーが伸びた。 また、Facebook記事にもなるべくハッシュタグをつけて投稿するようにした。協会Facebookでは4/27にコロナ対策にて飲食店のテイクアウト情報を掲載した日のアクセスが1.6K、6/30のこーにゃんのエコバックプレゼントが1.3K、5/11の絵金祭り中止発表が1.1Kのリーチ。塩の道トレイルでは6/30のエントリー開始前日が1.8K、6/1の開催宣言が1.5K、10/8の受付からスタートまでの動画UPが1.5K、10/16のケーブルテレビ動画UPが1.4Kのリーチ。 こーにゃんは8/19のシトラスリボンプロジェクトが1.5Kであった。	ユーザーは高知県(高知市)が最も多い。 高知市から香南市へ来てもらうことを意識して投稿している。	Instagramユーザーが増えているので、効果的な見せ方、誘客できる内容、ハッシュタグのつけ方等を習得し、促進につなげる。	

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
	◆ 核となる観光拠点の形成			
	1-1. ヤ・シィパークを核とした地域の活性化促進プロジェクト 【目標値】 【道の駅やす入込 (289,000人)】 10月末実績：156,410人 【実施主体】 株式会社ヤ・シィ 高知県 香南市 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.13 ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の促進	【当初】 ◆ヤ・シィパークの整備に向けた協議及び合意形成、整備の実施 ・活性化協議会を通じた整備方針の検討及び意見反映、適切な維持管理の実施、観光拠点化に向けた運営体制の確立 [実施主体:株式会社ヤ・シィ] ・商業施設部分の振興やアクティビティについて、活性化協議会を通じた整備方針の検討 [実施主体:香南市] ・活性化協議会を通じた整備方針の策定及び整備の検討、ヤ・シィパークの観光拠点化に向けた関係者間の合意形成、維持管理の継続実施 [実施主体:高知県] 【10月末までの取り組み状況】 ・ヤ・シィパーク西のサイクリングロードの開通。(6/6) ・(株)ヤ・シィ、香南市、高知県の3者協議を実施(6/16) ・レンタサイクル事業(6月末時点0名)	新型コロナウイルス感染症拡大を受け、当初予定していた以下のイベントや会議は全て自粛となった。また、G.Wについても緊急事態宣言発令に伴い、(株)ヤ・シィ直営店他、各テナントも活動自粛となったため、入込客数についても大幅減少。新型コロナウイルスの影響により、関係機関による協議を進めることができなかった。今後、ヤ・シィパークの施設運営が安定かつ円滑に行えるよう、運営方法や管理体制を含め施設整備計画を検討していく必要がある。 (自粛したイベント等) ・ヤ・シィパーク活性化推進協議会の開催 ・グランピングテント等を活用したイベントの開催 ・ヤ・シィファミリーキャンプ(4/27～5/5) ・YASU海の駅クラブと連携したマリナクティビティの提供(6月末までにマリナ体験受入 5人) ・マリンスポーツ体験会	新型コロナウイルス感染症の終息の目途がたっていないことから、手結盆踊り、花火大会、マリネフェスティバル等の入込客数が見込めるイベントが軒並み中止を余儀なくされているが、R3年度は、Withコロナにおける安心安全な野外イベントについて国・県等のガイドラインを参考に検討し、開催する。 ヤ・シィパーク整備に向けた方向性の検討にあたり、H30 グランドデザイン、R元の検証事業を踏まえ、活性化協議会(株)ヤ・シィ、県、市による協議を実施する。
観光の育成に向けた取り組み	1-2. ヤ・シィパークを核とした地域の活性化促進プロジェクト (manamana) 【目標値】 【売上高 (54,611千円)】 10月末実績：19,357千円 【実施主体】 株式会社ヤ・シィ 高知県 香南市 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.13 ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の促進	【当初】 ◆売上アップに向けた取り組みの強化 ・内部の体制強化 店舗の運営体制の強化、新商品の開発、アイスバーの生産体制の強化、ミーティングの実施 [実施主体:株式会社ヤ・シィ] ・店舗の周知 イベントへの出店・出品、自主イベントの開催、情報発信 [実施主体:株式会社ヤ・シィ] ・外販の強化 商談会への参加、外商活動の強化 [実施主体:株式会社ヤ・シィ] ・販売機会の増加のための「れんげいこうち」事業等の情報提供、店舗の運営の状況把握 [実施主体:香南市] ・新商品開発や店舗の経営改善のための産振アドバイザー制度の活用、商談会やコンテスト等の情報提供・研修会の案内、販路開拓等の事業者の課題解決のための関係部署からの情報収集と伝達 [実施主体:高知県] 【10月末までの取り組み状況】 店舗の周知 ○イベントへの出店・出品 【7月】 ・TSUNAGUマーケット(イオンモール高知)へ出店(7/4・7/5) 【10月】 ・ヤ・シィらんどへの出店(10/17～18) ○情報発信 ・ほっとこうち10月号への掲載 外販の強化 ○商談会への出展 … 【10月】 ・高知県産品商談会(10/27) ○高知県版ハサップ策定講習会へ参加(9/16) ○新規成約 【6月～】 ミニストップ(株)(千葉県、カタログ:夏ギフトに採用) ・(株)マルシメ(秋田県、小売) 【7月～】 ・(株)ハツトリー(宮崎県、小売)※取引再開 ・マックスバリュ東海(静岡県、WEB販売) ○HACCPへの対応 【9月】 県版HACCP認証に向けた書類作成講習会参加(9/16) ○商品開発 【8月】 ランチメニューの開発を実施 (夜須町産トマトを使った、パスタ、ピザ、ハンバーグ) ・沖縄フェアを開催。期間限定アグー豚の冷しゃぶを販売(8/1～31) ・高島屋・お歳暮用商品開発(夜須町産メロンを使ったアイスバーの開発) 【10月】 牡蠣フライ(季節限定)	新型コロナウイルスの影響により、カフェメニュー、アイスバー等の店舗での売上やイベント出店分の売上が大幅に減少しているため、外販を強化することにより、安定した売上を確保する必要がある。 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、当初予定していた以下のイベントや商談は全て自粛となった。また、G.Wについても緊急事態宣言発令に伴い自粛し、現在もソーシャルディスタンス確保のため、客席を間引きしての営業となっているため、売り上げは大幅減少している。 (自粛したイベント等) ①商品開発 ・地域おこし協力隊による期間限定カフェメニュー(5/20～5/26) ②外販強化 ・商談会への参加 ・イベント出品	外販を強化するためには、衛生管理体制の強化は必須であることから、高知県版HACCPを取得する。 また、新型コロナウイルス感染症に終息の目途がたっておらず、客席数を減らした営業の継続が続き、店舗売上の向上は見込めないため、リモート開催の商談会等に積極的に参加する。 ・運営体制強化のためのOJTによる人材育成 ・売上増に向けた店舗の新メニュー開発及びPR戦略の作成・実行

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
観光の育成に 向けた取り組み	2. 三宝山エリア活性化促進プロジェクト [地域と連携した高知県産ワインのブランド化促進事業] 【目標値】 醸造所建設等 10月末実績： 予定通り進んでいる。 【実施主体】 井上ワイナリー株式会社 井上石灰工業 株式会社 高知県/香南市 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.11 高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進	【当初】 R2.: 造成及び醸造施設 建設 等 R3.: 醸造開始 R4.: グランドオープン 【10月末までの取り組み状況】 R3年 2月の竣工を目指し、事業を実施。 (4月) ・ 香南市産業振興推進総合支援事業費補助金 交付決定 ・ 醸造所建築に係る入札を実施 ・ 起工式の実施 (5月) : 対象地の造成を開始 (7月以降) : 醸造所建設工事開始	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、建築許可を発行する部署の人員が一時的に減る等の影響から、許可までに時間を要し、スケジュールに後れが生じていたが、醸造所建設に着工後は遅れを取り戻している。 ○ R3年2月に竣工予定。	R3年度の夏に香南市産を含む高知県産ブドウの収穫が予定されており、醸造所の稼働も開始される。 問題なく稼働できるように、各準備を粛々と進めていく。
	◆ 広域観光の推進			
	1. 物部川エリア観光連携事業 【目標値】 【対象9施設入込客数(777,000人)】 10月末実績： 216,057人 【実施主体】 (一社)物部川DMO協議会 高知県 (一社)香南市観光協会 香南市 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.20 物部川地域における広域観光の推進	【当初】 ◆ 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 R2～R3: 物部川DMO協議会の組織体制の強化 ・ 日本版DMO登録に向けた取組の推進及び登録 ・ マーケティング機能強化 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] R3～R6: 物部川広域観光振興中期計画の更新及び集客戦略の立案・実施 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] R3～R6: 地域内での連携体制の整備・運営 ・ 物部川流域圏内の観光地域づくりを行うため、市や観光協会を窓口とした連携体制の整備及び運用 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会、(一社)香南市観光協会、香南市] ◆ 観光商品の充実 R2～R6 : 観光商品の充実 ・ 関係団体や事業者、大学等との連携による新たな観光資源(体験メニュー等)の発掘 ・ 磨き上げや、土佐の観光創生塾等を通じた商品づくりへの支援 ・ 物部川流域圏内での周遊ツアー、地域イベントを組み込んだツアー商品等、旅行業を活用した旅行商品の企画造成 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] ・ 関係団体や事業者等との連携による新たな観光資源(体験メニュー等)の発掘・磨き上げや土佐の観光創生塾等を通じた商品づくり [実施主体: (一社) 香南市観光協会] ◆ 観光客の広域誘致 R2～R6 : 戦略的なセールス・PR ・ ターゲット層及びエリアに即した旅行エージェントセールスの実施 ・ ターゲット層への訴求力のある媒体を活用したエリア情報発信の実施 ・広域観光パンフレットやHP、SNS等 を活用したエリア情報発信の実施 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] ◆ 地域連携による周遊促進 R2～R6 : 連携企画等の実施 ・ 圏域一体での観光地域づくりの意識醸成と圏域内への周遊促進を図るため、地域内の関係者連携による企画等を実施 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] ◆ 物部川地域の観光に携わる人材の育成 R2～R6 : 連携企画等の実施 ・ 広域観光推進のための知見の拡大・共有を目的とし、先進地視察や圏域内の観光情報の共有のためのエリア内研修の実施 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] ・ 県等が実施する研修の情報提供 [実施主体: 高知県] <対象施設> 南国市: 西島園芸団地、高知県立歴史民俗資料館 香南市: 高知県立のいち動物公園、創造広場「アクトランド」、絵金蔵 香美市: 香美市立やなせたかし記念館、龍河洞、べふ峡温泉、 ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート 〈※10月末までの取り組みは次ページ〉	新型コロナウイルス関連の為、事業実施が出来ない状況にあったが、徐々に回復し、誘客の為にセールスが10月より復活した。 新し旅の在り方により、少人数での旅行実績が増えている。 そのため、個人旅行向けのコンテンツやレンタカープランの充実を図る必要がある為、今後はその分野での販路の開拓も行っていく。 また、教育旅行(修学旅行)や遠足の実施形態も変化しており、近隣県や県内内容の需要も増えている為、当初予定していた商圏を変更してればセールス活動も必要となると考える。 ◆ 主なセールス活動 ・ 11月 四国DCキャンペーンセールス(高松) ・ R3.1月 ツーリズムEXPOJAPAN(東京) ◆ 旅行商品の造成販売 造成: 継続して実施/販売: 情勢を見ながら販売 ◆ 6次化事業 ・ 商品販売(9月-11月の期間販売) ・ 同時にキャンペーンを実施し、応募者数200名の内、30名に特産品をプレゼントし地域観光PRを実施。 収束後の観光客誘致につなげる。	9月20日以降、高知新港に寄港予定のクルーズ船もあり、高知市に次いでOPツアーコースの多いものがわエリアでは、観光のお客様が安心、安全であるのみならず、受け入れる観光施設の方々も安心安全が必須となると考えられ、受入側の環境整備が整う=送客側(旅行エージェント、船会社、お客様等)も感染防止対策をしっかりと実施いただくための、ガイドライン、衛生認証制度「SSS認証制度」を開始した。 今後も安心して物部川エリアに観光客にきていただけるようにこの取り組みを推進する。 また、今後は「新しい旅の様式」に合わせ、観光需要が変化するため、お客様の視点に合わせた観光を展開、推進をする。(県内誘客についても考え直す必要がある。) また、各市の観光コンテンツ(観光資源、祭り、イベント等)の魅力を発信していくことで、観光の強みを活かした物部川エリアの周遊観光を促進していき、観光客の誘致や観光商品の開発等を行う。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)	
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて	
観光の育成に 向けた取り組み	〈前ページ参照〉	<p>【10月末までの取り組み状況】</p> <p>◆ 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 ・物部川エリア内での観光の受入強化の為、DMO協議会の組織形態を盤石なものとするため、新規会員の加入を推進。(4団体が新規加入)</p> <p>◆ 観光商品の充実 ・OTAを活用した体験観光の受入強化の為に「Kkday」へのセールスを実施。(7月6日) ・土佐の観光創生塾(地域づくり塾)での商品造成の為に担当者会を開始。地域観光の舵取り役としての人材を育成するための事業「SSS(スリーエス)認証制度」を軸とした観光周遊コース(プラン)の造成を実施。 ・「子どものココロの成長」をテーマとし「冬休み企画」として開催準備を進めていたが、コロナの影響もあり年度内の開催は断念。今年度、商品造成をおこない次年度の開催予定。(11月以降も継続して実施) ・商品造成の為に契約の実施… エリア内観光施設及びホテルとの旅行業契約を実施。</p> <p>◆ 観光客の広域誘致 ・ターゲット層及びエリアに即した旅行エージェントセールスの実施 10月 7日：高知県観光説明会(高知市) 10月12日：高知県観光説明会(名古屋) 10月13日：旅行エージェント個別訪問商談(4社) 10月20日：高知県観光説明会(東京) 10月21日：個別訪問当(2社) ・パンフレットやHP、SNS等を活用したエリア情報発信の実施 物部川エリアの情報発信の為にキャンペーンを実施。 (キャンペーン期間:8月29-9月14日) ※ 新規登録者数:418名(Twitter登録者数778名)</p> <p>◆ 地域連携による周遊促進 ・10月11日に開催予定であった「ものべがわフェスタ」の開催を断念。 1日の単独イベントではなく本来の目的である「エリア内周遊」の観点より、11月1日から11月30日迄の期間の「ものべがわフェスタ、ガチャ祭り」を企画、準備。 また、物部川エリアの掲げる「子どものココロの成長」にちなんで「オンラインものべこどもクイズ王決定戦」を開催(10月11日)</p> <p>■ その他、広域観光推進の為に実施事業 ・旅行エージェント、等の視察行程作成および実施(アテンド) ・受入体制強化の為にガイド育成 香美市観光ガイドの会(主催:香美市観光協会)委員、事務局補助として活動。</p>	〈前ページ参照〉	〈前ページ参照〉	
	◆ スポーツツーリズムの推進				
	1. サイクルイベントの開催	<p>【目標値】 サイクルイベント参加者数(500人) 10月末実績: 48人</p> <p>【実施主体】(自転車) NPO法人 高知CyclingProject Maze-Cle (一社)香南市観光協会 (一社)物部川DMO協議会 高知県シクロクロス実行委員会 土佐くろしお鉄道(株) 香南市</p> <p>【連携する分野】 サイクリング専門委員会</p> <p>県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進</p>	<p>【当初】 自転車を通じた観光客誘致と、市のPR、出店や市内飲食店等の収益増につながる大会として開催。 R2: イベントの開催 (三宝山ヒルクライム、ツール・ド・トレイン、ポタリング、シクロクロスカップ) [実施主体]: NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle、高知県シクロクロス実行委員会] ※ 事業詳細は「サイクリング分野」の資料を参照。</p> <p>【10月末までの取り組み状況】</p> <p>・三宝山ヒルクライム(10月開催予定)… 新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ・ツール・ド・トレイン(5/16開催予定)… 新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ▶ 10月31日(土)「列車と自転車旅するサイクルプラストレイン」として「童謡の里あき弘田 龍太郎の曲碑を巡る旅」として、土佐くろしお鉄道とNPO法人高知CyclingProject Maze-Cleが協力して開催。(参加者:22人)</p> <p>・ポタリング 8月8日(土)ほっと平山(香美市) : 参加者 5人 10月24日(土)いなかじかん(安田町) : 参加者 13人 11月14日(土)古古(香美市) : 参加者 10人 ※未開催月は悪天候や新型コロナ感染症に配慮したため中止とした</p> <p>・シクロクロスカップ R3.1月にヤ・シィパークを会場に開催予定していたが、新型コロナウイルス感染症も対応を考慮しながら、R3.3月にヤ・シィパークを会場に開催を検討している。</p> <p>・3市ロングライド: 来年度の開催について (一社)物部川DMO協議会とNPO法人高知CyclingProject Maze-Cleで検討していたが、大人数での開催が困難なため、中止を決定した。</p> <p>・健康サイクリング 新型コロナウイルス感染症の影響を考え、開催予定を4回(4月、5月、9月、10月)としていたが、お正月太りの参加者を対象に、NPO法人高知CyclingProject Maze-Cleと協力してR3.1月24日(日)、1月31日(日)、2月7日(日)の3回行う予定。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で大規模のイベント等が中止になったため、目標値に対する実績値は少ないが、コロナ禍でも開催できる方法を検討し、また感染防止対策を徹底したうえで比較的に小規模なイベントから開催することにより、前回6月末の0から実績値を伸ばすことが出来た。</p> <p>コロナ禍でも、軽度な運動等は推奨されていることから、今後は、大規模ではなく、小規模のポタリングや健康サイクリング等から準備を行い、開催につなげていく。</p> <p>また、今後は、イベント時だけ乗ってもらおうのではなく、通勤等日常的に乗ってもらえるような仕組みづくりを行っていく。</p> <p>(サイクリング分野を参照)</p>	

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
観光の育成に向けた取り組み	2. 塩の道を活用したイベントの開催	<p>【当初】 塩の道を活用したイベントを開催し、塩の道の次世代への継承と観光客増加を図る。</p> <p>R2.10月：塩の道トレイルランニングレース開催 [実施主体：(一社)香南市観光協会] R3.3月：30kmうおーく開催 [実施主体：土佐塩の道保存会] ※ 前日イベントの開催(講師を招いての講習会・交流会等を実施) ※ ITAR (国際トレイルランニング協会)への登録</p> <p>【10月末までの取り組み状況】 ①トレイルランニングレース ・7月1日午前6時インターネット販売(ジャパンレグ)エントリー開始し、約50分で完売。 ・アナログ枠も当日正午過ぎに完売。 ・キャンセル待ち希望者を全員受入、206名のエントリー。 ・開催は土佐塩の道トレイルランニングレース実行委員会、事務局は香南市観光協会 で準備。昨年同様ボランティアスタッフも募集。 ・10月4日開催、出走182名、リタイヤ11名、完走率94%。 ・新型コロナウイルス感染症対策として様々なガイドラインを参考に開催。 ・パスを使用しない38kmミドルコースを作成し、ランナーには2週間前から健康 チェックシートの記入と提出、受付前の検温、30秒毎5人ずつのウエーブスタート、 走行中以外はマスクの着用、決められた場所での手指消毒。 ・スタッフはマスクにフェイスシールド、エイドは個包装でスタッフはゴム手袋着用、ゴミの 持ち帰り等の対策を実施。 ・高知県スポーツ課(高知龍馬マラソン担当)の視察あり。 ・JRの駅からウォークに30kmウォークを掲載。 ・山田高校生による土佐塩の道とサイクリングを組み合わせた企画を行いたいとの相談 をうけ、商工観光課のサイクリング担当の斎藤さんを紹介。イベント広報を実施。 ・土佐塩の道のガイドを香南市で遊ぼう割♪キャンペーンの体験プログラムとして、取扱う ための調整を土佐塩の道保存会香南支部と行った。</p> <p>②30kmうおーく：100人 10月末実績：206人</p> <p>【実施主体】 (一社)香南市観光協会 土佐塩の道保存会</p> <p>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の 推進</p>	<p>① 土佐塩の道トレイルランニングレースは、初めから「開催 するためにどうすればよいか」を考え、取り組んだ。 多くのイベントはどうすれば開催できるかを考えず、中止 の判断をしていたと思う。 やれる方法を考え、ガイドラインを参照し、開催できる最 大限の取組を行った大会としては先駆的な取組ができた と考える。 また、多くの大会が中止となるなか、参加したランナーの 皆さんには大変ありがたい言葉をかけていただい た。出場する大会を心待ちにしていたことは、販売後1時 間かからず完売したことから読み取れる。</p> <p>② 30kmうおーくについては、県内での新型コロナウイルス感 染症が拡大しているため、感染状況を見極めて開催の可 否の判断をする必要がある。</p> <p>※毎年3月下旬に実施している30kmうおーくは、 R3.1.20に開催された役員会で、5月15日(土)の 開催延期を決定。</p>	<p>Withコロナでも開催できる方法を確立できたが、募集人数を 減らしたことは、「参加費収入」も減るため、今後の開催は、 国・県のガイドラインや他のイベントも参考に、Withコロナで最大 限対応できる募集人数で行う。</p> <p>※毎年3月下旬に実施している30kmうおーくは、5月15日(土) の開催延期を決定。</p>
	3. マリンスポーツの推進	<p>【当初】 香南市マリンスポーツ施設やヤ・シィパークを活用した大会を開催するとともに、来訪 者が手軽にマリンスポーツを満喫できるようマリン体験(SUP、ディンギーヨット等) を実施し、マリンスポーツの推進をはかる。</p> <p>・香南市マリンスポーツ施設やヤ・シィパークを活用したマリンスポーツ大会の開催 R2.5月 龍馬カップ(ヨット大会) R2.9月 アクセスディンギー ハンド in ハンド R2.10月 ヤ・シィ カヤックマラソン(シーカヤック)</p> <p>・香南市マリンスポーツ施設・ヤ・シィパーク等関係施設と関係団体の連携による 沿岸域 を利用したスポーツツーリズムの体験メニュー構築 [実施主体:NPO法人YASU海の駅クラブ] [連携団体:株式会社ヤ・シィ(一社)香南市観光協会・(一社)物部川DMO協議会]</p> <p>【10月末までの取り組み状況】 引き続き新型コロナウイルスの影響はあり、2つの大会と6校の学校体験が中止となっ た。 当施設での活動は屋外であることから、比較的に密になりにくい事もあり県内外の学 校の体験申し込みがあったが、感染拡大の影響を考慮して県外の学校、団体の受入 れは中止した。 県内の学校については今年度初めて来て頂いたところもあり、次年度へ繋げていく事 に取り組んだ。 県外の学校、団体については状況が落ち着いたら、来て頂けるように関係各所と連 携、連絡を行った。</p> <p>大会参加者数+マリン体験の参加者数(230人) 10月末実績：62件(780人)</p> <p>【実施主体】 NPO法人YASU海の駅クラブ</p> <p>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の 推進</p>	<p>新型コロナウイルスの影響はあったが、結果的には多くの 学校、団体に来て頂いた。 現在、更に新型コロナウイルスの感染は拡大しており、 日々変化する状況をみていかに安全に安心して海の体 験を行っていくかが、課題である。</p>	<p>現在、全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大しており、高 知県も例外ではない事から、安心・安全を第一に、海の体験を 楽しんで貰う事に取り組んでいく。 そのために、常に新しい情報を取りこみ、関係団体と情報共有 を引き続き行う。 また、物部川DMO協議会及び近畿日本ツーリストと協力し、 バリアフリー観光拠点の一環としてユニバーサルビーチを 設置し、「観光事業」として事業も行う。</p> <p>R3年度は新型コロナウイルスの影響で既存の修学旅行先から 当施設への修学旅行の予約が既に入ってきていることから、新 たな需要への対応を強化していく。</p>

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
受入体制の強化	◆おもてなしの向上			
	1. 香南市案内人会の拡充 【目標値】案内人会会員数 (26人) 10月末実績: 24人(1人増、1人減) 【実施主体】 香南市案内人会 【連携する分野】-	【当初】 会員増に向けた勧誘や広報に取り組み、ガイド受入可能な体制の強化を図っていくとともに、ガイド技術向上のための勉強会や研修会を開催する。 ・他団体との連携を強化したガイドの実施 ・高知県観光ガイド連絡協議会HPを活用した情報発信 ・OTA(Online Travel Agent)への登録 【10月末までの取り組み状況】 ・受入実績 : 4回 (県立大2回、遊ぼう割2回) ・高知県観光ガイド連絡協議会総会: 書面決議 ・避難訓練実施 : 1回	新型コロナウイルス感染症の影響で、ガイド技術向上のための勉強会や研修会を開催することができなかった。	R3年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、会員増に向けた勧誘や広報に取り組み、ガイド受入可能な体制の強化を図っていくとともに、ガイド技術向上のための勉強会や研修会を開催する。
	2. 外国人観光客受入研修の実施 【目標値】参加事業者数 10事業者 ※ R6年度末累計 50事業者 10月末実績: 0事業者 【実施主体】 香南市 【連携する分野】-	【当初】 観光関係事業者向けインバウンド研修を開催し、文化やマナー、接客英語の習得を促し、外国人観光客とのコミュニケーション能力向上へ繋げる。 【開催時期】(講師: 民間企業を予定) R2.9月 : 全体セミナー R2.10月～R3.3月: 個別セミナー 【10月末までの取り組み状況】 新型コロナウイルス感染症の影響から、遊ぼう割等の事業を優先し実施したこと から、外国人観光客受入研修の実施は今年度は見送ることとした。	新型コロナウイルス感染症の影響でインバウンド観光が激減している。 新型コロナウイルス感染症の影響により、研修等については実施できていないが、終息に向かう中で、迅速な対応ができるように当研修の準備は進めて行く必要がある。	新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、開催する。
	3. アンケート調査の実施 (観光地点パラメータ調査) 【目標値】調査の実施 10月末実績: アンケート2回実施 【実施主体】 香南市 (一社)物部川DMO協議会 【連携する分野】-	【当初】 香南市を訪れた観光客を対象としたアンケート調査を実施し、観光客の属性・消費傾向等を把握する。 また、効果的な観光施策を展開していくための基礎資料とし、調査結果を個々の取り組みに反映する。 ・調査地点 令和元年の入込客数が1万人以上・もしくは令和元年の特定月の入込客数が5千人以上である観光施設(日常利用・通過型の利用が大半を占めると考えられる地点は対象外)従業者数10人以上の宿泊施設から抽出 ・調査事項 観光入込客の居住地、性別、年齢、日帰り・宿泊別、宿泊施設、旅行目的、同行者数、市内訪問観光地点名、市内観光消費額単価等 ・調査周期 : 四半期毎 (1～3月、4～6月、7～9月、10～12月) ・実施時期 四半期に含まれる休日1日で、当該四半期の観光入込客の平均的な訪問地点数、観光消費額単価が把握可能と考えられる日。 ※当調査により「市内観光消費額」を算出し、第2期計画の途中から、数値目標として示していきたい。 【10月末までの取り組み状況】 ・顧客満足度調査の為のアンケートの実施 (7月23日～26日) 開催場所: 道の駅南国、道の駅やす (145サンプル) ・顧客満足度調査の為のアンケートの実施 (実施施設:30箇所) (実績)8月:72サンプル、9月～10月:365サンプル	アンケートの設問内容については、「年間共通設問 + シーズン毎の設問」で構成している。 観光消費額調査のための設問については、今回の旅行に係る旅費(予算額)について調査していく必要があることから、協議を重ねた結果、旅程の途中で、きちんとした消費額の調査が不可能となる為、R2年度は「旅行に行く前に想定する予算額」を調査することとした。 ※ 12月より実施中	R3年度も引き続きも調査を実施する。

令和2年度の取り組み計画 【サイクリング】

	R2年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評価	備考
サイクルイベント 大会参加者数	500人	50人	-	
サイクル サポーター数	10団体	6団体	-	

※サイクルイベント大会参加者数は、下記イベント・大会参加者数

【対象イベント・大会】

① 三宝山ヒルクライム ② ツール・ド・トレイン ③ ポタリング ④ シクロクロスカップ ⑤ 3市ロングライド (※R3から) ⑥ 健康サイクリング

※ R2年度に策定する「香南市自転車活用推進計画」において、イベント開催時に、サポートスタッフや出店等をもって取り組む実働をもった参加型サポーター制度を構築する。

サイクルサポーター数は、自転車利用促進に参画し、実際に活動してもらえらる事業所・団体を対象とする。

■ 取組の総評

【R2.4月～10月末の取組について】(P・D・C)

新型コロナウイルス感染症の影響で軒並み、イベントが中止になっている。サイクルサポーター養成のきっかけづくりも新型コロナウイルス感染症の影響で開催できない。

【R3年度の取組について】(A)

R2年度は大規模なイベントの中止が相次ぐため、R3年度は小規模のポタリングや健康サイクリング等から準備を進めていく。サイクルサポーターは「サポーター制度」を利用し、実施主体と協議を重ね、小規模イベントの開催に繋げていく。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
観光 (サイクリスト 誘致)	◆ サイクルツーリズムの推進			
	1. レンタサイクル推進事業	<p>【当初】</p> <p>■ 自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 香南市サイクリングターミナル外でのレンタサイクルを拡大。 ※サイクリングターミナルを中心とした貸し出しを強化する</p> <p>R2 : 自転車活用推進計画策定 (乗り捨て・施設連携について調整し、可能な施設から実施する) ※R1年度中に実施に向けてモニター中 (絵金蔵)</p> <p>【10月末までの取り組み状況】</p> <p>密にならないアクティビティとして少しずつ需要が出てきた。 また、10月からスタートした「香南市で遊ぼう割♪」で利用者が増えている。 しかし、4月～6月までの自粛期間の影響があり、昨年ほど貸出数は伸びていない。 (前年比 72%)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、密にならないアクティビティとしてサイクリング需要が上がっているが、自粛期間の影響が大きく、貸出数目標値達成は難しい状況。</p>	<p>サイクリングターミナルでは、タンデム自転車やクロスバイクの更新等行っていることから、今後は、推進につながる施策を自転車活用推進計画で協議を図っていく。 また、NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle等が主催するツアーや自転車を持たない人に対するレンタサイクルを強化し、推進につなげていく。 加えて、R3年度よりヤ・シィパークにレンタサイクルスペースを常設し、レンタサイクルを行っていく予定であることから、サイクリングターミナルを含めた2つの拠点化を進め、連携して観光事業を担っていく。</p>
	2. サイクリングのPR	<p>【当初】</p> <p>サイクリングコースパンフレットを作成し、市内外施設・自転車店等での配布を行う。 併せて香南市のHPや各自転車団体の運営するSNSを活用しPRする。 また、県内外のサイクルイベントに参加し、香南市について対面PRを行い、サイクリストの誘致へと図る。 R2.5: 市内8コースのサイクリングコースを掲載したパンフレットを作成・配布。[香南市] ※ キャッチフレーズ「ちりりん香南(仮)」を使用予定 (作成期間は2カ月を予定) ※ 完成に合わせて市HPやSNSでも情報を掲載する [香南市] R2. 8: シマノ鈴鹿ロードへの参加 [香南市・香南市観光協会] R2.10: サイクリングしまなみへの参加 [香南市・香南市観光協会] R3. 1: サイクルパーツ合同展示会への参加 [香南市・香南市観光協会・NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle]</p> <p>【10月末までの取り組み状況】</p> <p>パンフレットは現在、制作中。(1月中に原稿確認/2月に印刷/3月に配布)</p> <p>【イベント中止報告】</p> <p>R2. 8月: シマノ鈴鹿ロード R2.10月: サイクリングしまなみ</p> <p>【イベント参加予定】</p> <p>R3. 3月: サイクルパーツ合同展示会への参加 ※R3. 1月からの変更</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、県内外のサイクリングイベントの中止によってPR活動ができなかった。</p> <p>しかし、NPO法人高知CyclingProject Maze-Cleの取り組みとして、you tubeチャンネルを開設して自転車のメンテナンスやサイクリングコースの紹介動画を行う等、コロナ禍における新たな取り組みも実施されている。</p>	<p>中・上級者用パンフレットとして2月完成の「新しいパンフレット」を利用し、県外のサイクリング先進地や観光施設、サイクリングイベントで配布する等情報発信を深めていく。</p> <p>また、初級者用として「まるごと体験ツール・ド・香南」も改定・増刷することで、自転車観光を楽しみたいのか、スポーツとして楽しみたいのか対象者の目的に合わせて使い分けていく。</p>

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
観光 (サイクリスト 誘致)	3-1.イベント・大会の開催 (三宝山ヒルクライム)	【当初】 自転車を通じた観光客誘致と、市のPR、市内飲食店・宿泊施設等の収益増につながるイベント・大会として開催する。	当初、10月開催予定で準備を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響でイベント開催を中止した。	R3年度は三宝山の頂上が使用できるか不明なため、「三宝山頂上」を使用してのヒルクライムは難しいと考えている。
	【目標値】 参加者数 (100人) ※香南市観光協会の各SNSを対象 10月末実績：今年度の開催を断念	R2 : 開催調整 (完了後募集周知開始) [NPO高知CyclingProject Maze-Cle、香南市] R3.2or3月 : イベント開催	しかし、NPO法人高知CyclingProject Maze-Cleの取り組みとして次期開催に向けての検討会が実施される等、コロナ禍における新たな取り組みも実施されている。	今後、参加者を30人までに抑えたローカルイベントとしての開催を目指し、関係団体等と調整を図る。
	【実施主体】 NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle 等	【10月末までの取り組み状況】 当初、10月開催予定で準備を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響でイベント開催を中止した。		また、山頂敷地内には入れないが、旧スカイライン等、道の規制については問題ないことから、県道等を活用した開催に向けて関係団体と協議を進めていく。
	【連携する分野】 観光分野 / 商業分野 県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進			
	3-2.イベント・大会の開催 (サイクルトレイン)	【当初】 自転車と鉄道の連携によるサイクルイベントを通じ、観光客誘致と、市のPR、市内飲食店等の収益増につなげる。	当初、5月開催予定で準備を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響でイベント開催を中止した。	R3年度は、5月と10月の2回の開催を予定。
	【目標値】 参加者数 (20人) 10月末実績： 22人	R元年度中 : 土佐くろしお鉄道と調整 (完了後募集周知開始) [香南市・NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle] R2 : イベント開催 [NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle] ※これまで香南市観光協会が主催で開催していたが、R2以降は事業予定をしていないことから、NPO法人 高知CyclingProject Maze-Cleが引き継ぎ、考案・調整し直し、開催を行う。 ※市広報による支援を実施 [香南市]	しかし、10月に開催し、自転車をそのまま列車に乗せることや大勢で走ることを実感していただき、全員が次回も参加したいとアンケートに回答していた。	アンケートには、「もっと長い距離を走りたい」との意見もあったことから、コース選定や距離を長くすることを含め開催準備を行っていく。
	【実施主体】 NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle 香南市	【10月末までの取り組み状況】 10月31日(土)「列車と自転車で旅するサイクルプラストレイン」として「童話の里あき 弘田龍太郎の曲碑を巡る旅」として、土佐くろしお鉄道とNPO法人高知CyclingProject Maze-Cleが協力し開催。(参加者:22人)		
	【連携する分野】 観光分野、商業分野 県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進			
	3-3.イベント・大会の開催 (ポタリング)	【当初】 「カフェライド」として飲食店を目的地とした気軽に参加できるイベント。市内飲食店等の収益増につながるイベント・大会を開催。	12月も開催予定だったが、新型コロナ感染症拡大により、中止した。 これからも天候や新型コロナ感染症を考慮しながらの開催が必要となる。	新型コロナウイルス感染症に対する対策をして開催する。
	【目標値】 参加者数 (240人) 10月末実績： 28人	R2.4月より開催 [毎月1回 (年12回) 開催。定員 20人] ※目的地、ルートはその都度設定していく。 ※市広報による支援を実施 [香南市]		
	【実施主体】 NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle 香南市	【10月末までの取り組み状況】 8月8日(土)ほっと平山(香美市) : 参加者 5人 10月24日(土)いなかじかん(安田町) : 参加者 13人 11月14日(土)古古(香美市) : 参加者 10人 ※未開催月は悪天候や新型コロナ感染症に配慮したため中止とした		
	【連携する分野】 観光分野 / 商業分野 県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進			
	3-4.イベント・大会の開催 (シクロクロスカップ)	【当初】 自転車を通じた観光客誘致と、市のPR、出店や市内飲食店等の収益増に繋がる大会として開催。	新型コロナウイルス感染症も対応を考慮しながら、R3.3月に開催を検討している。	大会の規模(参加者数・観客動員数)については、新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら調整を図る。
	【目標値】 参加者数 (120人) 10月末実績： -人	R2. 秋 : 開催に向けた調整 (高知県シクロクロス実行委員会・香南市 連携) 調整完了後募集周知開始 R3.1月 : 大会開催 ※市広報による支援を実施 [香南市]	会場については、ヤ・シイパークを軸に検討をしているが、対象者を子どもや初心者にしたシクロクロス形式の別大会を吉川町の天然色劇場近隣でも検討しており、国道河川事務所にも確認を行っている。	
	【実施主体】 高知県シクロクロス実行委員会 香南市	【10月末までの取り組み状況】 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、開催に踏み切れず10月末まで開催準備ができていない。		
	【連携する分野】 観光分野 / 商業分野 県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進			

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
観光 (サイクリスト 誘致)	3-5. イベント・大会の開催 (3市ロングライド)	【当初】 自転車を通じた観光客誘致と、市のPR、市内飲食店・宿泊施設等の収益増に繋がる大会を開催。 R2 : NPO法人高知CyclingProject Maze-Cleが中心となり、開催に向けて南国市・香美市・香南市・(一社)物部川DMO協議会・国土交通省・警察等関連機関と調整を行う (※調整終了後、募集周知開始) R3.11 : イベント開催 [実施主体は調整のうえ決定] ※ 観光分野の物部川エリア観光連携事業と連携する	来年度の開催を(一社)物部川DMO協議会とNPO法人高知CyclingProject Maze-Cleで検討していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により大人数での開催は難しいと判断し、R2年度の開催は中止とした。	新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、現在、NPO法人高知CyclingProject Maze-Cleでは大人数参加のイベントより少人数のイベントやツアーを強化していきたいと考えているため、代替案として、3市を巡る小規模イベントの開催を模索している。 このことについて、今後も関係機関等と協議を進めていく。 ※初心者等参加者のクラス分けしたものを検討中 また、3市で河川敷を使ったサイクリング事業(ロゲイニング等)を(一社)物部川DMO協議会と実施する。
	【目標値】 大会に向けた整理 10月末実績 : - ※ R3中の開催に向けた調整 【実施主体】 NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle (一社)物部川DMO協議会 香南市・香美市・南国市 【連携する分野】 観光分野、商業分野 県物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進	【10月末までの取り組み状況】 来年度の開催に向けて、(一社)物部川DMO協議会とNPO法人高知CyclingProject Maze-Cleで検討をしていたが、中止を決定した。	新型コロナウイルス感染症の関係で引率してのNPO法人高知CyclingProject Maze-Cleの自主ツアーは決行していない。 自主企画ができなかったが、持ち込み企画が多かった。	NPO法人高知CyclingProject Maze-Cleとして、香南市のシイラとちりめんじゃこを堪能できる海産物ツアーを皮切りに、ミカンや市の文化を巡るツアー商品の開発をR3年度にスタートできるように計画している。 (ガイド目標人数 50人/年を予定)
健康づくり (市民向けの 取り組み)	◆ 自転車を活用した健康づくり			
	1. 健康サイクリングの開催	【当初】 県の健康パスポート事業を活用した健康サイクリングを年4回実施。 自転車を活用した健康に関することについて広報誌で啓発活動を行う。 【健康サイクリング開催時期】 (年4回) R2 : 4月、5月、9月、10月に開催 [サイクリングターミナルでの座学と実走] 募集人数25人。 【啓発活動実施時期】 年4回広報への掲載 (健康サイクリング開催時期に合わせる) 【10月末までの取り組み状況】 お正月太りの参加者を対象に、NPO法人高知CyclingProject Maze-Cleと協力して1月24日(日)・1月31日(日)・2月7日(日)の3回行う予定。	お正月太りの参加者を対象に1月～2月に3回開催することで図っていく。	イベント時だけ乗ってもらうのではなく、通勤等日常的に乗ってもらうような仕組みづくりを構築する。 R3年度も当事業は引き続き開催をする。 (日程は協議中)
	2. タンデム自転車の利用推進	【当初】 ■ 自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 タンデム自転車を活用できる施設や事業(高齢者教室、婚活イベント等)と連携し、活用機会を拡大することにより、レンタサイクル利用者増に繋げる。 (参考: R1.11月に婚活イベントで活用) 【整備】 R2.4月: サイクリングターミナルにタンデム自転車を2台購入(旧式と入れ替え) [香南市] 【活用機会の拡大】 ① タンデム自転車を売り込むと共に、活用したい施設の催しへ貸し出す。 [サイクリングターミナル] ② タンデム自転車講習会を開催する(年1回以上) [香南市] ③ タンデム自転車のパイロット育成教室でスキルを得たパイロットを利用希望者に合わせて派遣する。 ※ 人員登録管理等はNPO法人高知CyclingProject Maze-Cleで実施 【10月末までの取り組み状況】 NPO法人高知CyclingProject Maze-Cleと協力して、10月18日(日)に開催。 (参加者: 21人) パイロットバンクには現在5人が登録。	オーテピア・とさてらす等の出展PRが企画されていたが、新型コロナウイルス感染症により中止。 10月開催のタンデム自転車講習会には募集以上の参加者が申込みしてくれ、「このような企画をまたしてほしい」と要望があった。	宿泊付のタンデム自転車講習会の開催に向け調整を進めていることから、R3年度の実現を目指す。 また、市内開催のいろいろなイベントにタンデム自転車を持っていき、身近に感じてもらうように引き続き事業を進める。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
健康づくり (市民向けの 取り組み)	3. 通勤等への自転車活用推進 【目標値】 サイクルラック設置、駐輪場整備事業者数(〇人) ※活用推進計画で調整 10月末実績：-人 【実施主体】 香南市 【連携する分野】-	【当初】 ■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 自転車は環境にやさしい乗り物であることを認知してもらい、通勤等に利用する人の増加を目指す。 【取組内容】 R2…自転車活用推進計画策定 R3～サイクルラックを無償貸与。市内企業等が行う駐輪場整備に対しては補助を想定。 【10月末までの取り組み状況】 サイクルラックの購入準備を行う。 ※12月18日納品済	自転車活用推進計画中ではあるが、自転車観光に寄与するため、市庁舎・市内観光施設・宿泊施設・飲食店等へサイクルラックを計画的に導入していく。 ※R2年度 ラックを40基購入済。 ・市施設 25 ・事業所 15へ貸与していく。	R3年度は「自転車通勤・通学応援事業」として、サイクルラック貸出・駐輪場の整備補助・ヘルメット補助金・思いやりステッカーの配布・サイクルサポーター制度等を運用する計画を策定し運用を図っていく。
	4. ヘルメット着用率の向上 【目標値】 市民のヘルメット着用率 (〇%) ※活用推進計画で調整 10月末実績：〇% 【実施主体】 香南市 【連携する分野】-	【当初】 ■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 自転車の死亡事故のうち、損傷箇所トップである頭部を守るためヘルメット着用を推進する。これにより、万が一の事故に対する危険度を下げ、自転車利用者増加につなげる。 特に18歳以下の児童等については「高知県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」で着用の努力義務化がうたわれている。 通学外でもヘルメットを自ら着用し、事故に対する意識を向上させる。 これにより、卒業後も自転車に理解がある社会人として市の自転車推進の一端を担ってもらおう。 ※市内の自転車利用者のヘルメット着用率100%に向けた取り組み。 ※学校に関しては香南市教育委員会・学校と調整し進める。 R2 : 自転車活用推進計画策定 R3.3 : 市内児童・生徒に対し、通学外でもヘルメットを着用することを目的に、 現購入補助 ・教育委員会を通学者以外も対象とするよう補助制度を拡大する。 ・通学用ヘルメット兼 ・一般(高校生以上)にも補助(50%)を用意する。 ※R元年度全児童生徒数…2,439人 【10月末までの取り組み状況】 香南市教育委員会のやっているヘルメット補助金について現状を把握した。	ヘルメット補助金が自転車通学可能児以外対象でないことが分かった。 「自転車通勤・通学応援事業」として、サイクルラック貸出・駐輪場の整備補助・ヘルメット補助金・思いやりステッカーの配布・サイクルサポーター制度等を運用する計画の検討を行っている。	R3年度は、R2年度の検討した計画を策定し、運用を図っていく。 ヘルメット購入については、人生支援計画を巻き込み購入方法を一緒に考えていく。 また、購入補助や通勤・通学者にもヘルメットの大切さを知ってもらい、ヘルメットの着用率等で表彰される制度等を検討していく。
	5. 交通安全教室の開催 【目標値】 開催回数 (〇回) ※活用推進計画で調整 10月末実績：-人 【実施主体】 香南市 香南市交通安全指導員協議会 市内各学校 サイクリングターミナル 【連携する分野】-	【当初】 ■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 一般住民や市内全学校での交通安全教室を行い、自転車への理解を促し、次代を担う若者等への啓発を行う。 一般向けは親子向けも企画してサイクリングターミナルを利用した座学も行う。 R2 : 自転車活用推進計画策定 (策定中に教育委員会と調整し、全学校へカリキュラム導入を進め開催時期を設定する) R3以降：交通安全教室の開催 [学校向け…香南市・香南市交通安全指導員協議会・学校] [一般向け…香南市・サイクリングターミナル] 【10月末までの取り組み状況】 9/1 香我美小学校、9/3 野市中学校 9/4 野市保育所、10/1 香我美中学校 10/2 赤岡小学校、10/9 赤岡保育所、10/13 夜須保育所 10/14 野市東保育所、10/15 吉川小学校、10/16 野市東幼稚園 10/20 香我美幼稚園、10/28 夜須保育所 で開催。 【今後の予定】 2/5 佐古保育所、2/16 野市幼稚園、2月中 野市保育所	新型コロナウイルス感染症のため、学校等で開催の交通安全教室が秋開催となった。 これからも防災対策課と協力して行っていく。	R3年度も学校等は防災対策課と協力して当事業を開催する。 また、NPO法人高知CyclingProject Maze-Cleでも未就学の子どもを対象とした自転車安全教室を実施する。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
健康づくり (市民向けの 取り組み)	◆ 自転車を活用したまちづくりの推進			
	1. 香南市自転車活用推進計画の策定 【目標値】 計画の策定 10月末実績：△ 年度末を目標に計画策定を実施。 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	【当初】 R2.4月：策定コンサル入札(調査・計画取りまとめ) R2.5月：策定開始 ※内容案は市・策定委員会主導で立案 ※策定委員会は当専門委員会メンバーを中心に構成し、5回を予定 R2.11月：計画策定完了 ※R1中にコンサル仕様書作成、策定委員会設立に向けた調整、キャッチフレーズの確定(ちりりん香南(仮))を行っておく 【10月末までの取り組み状況】 R2.6月:契約審議会 R2.7月:参考見積取得 R2.9月:委託契約	R2年12月中に委員を決定し、R3年1月には本委員会。2月には「観光」「環境」「健康」「教育」の4部会を開催する。	R3年度には、策定した「香南市自転車活用推進計画」のもと、イベントや取り組み等を行っていく。
環境整備 (ハード整備)	◆ サイクリストにやさしい観光の充実			
	1. サイクルラック導入事業 【目標値】 サイクルラック設置数 (40箇所) ※ サイクルオアシス含む 10月末実績：0箇所 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 観光分野、商業分野	【当初】 ■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 現状では自転車を店先へ立てかけていることが多く、見た目も良いとは言えないことから、サイクルラックを導入することにより、スマートに駐輪してもらおうと共に、自転車に対してウェルカムな姿勢を持って、『自転車に理解があるまち』であることを体現しながら、サイクリストに立ち寄りやすい環境づくりを構築する。 ① 市庁舎・市内観光施設・宿泊施設・飲食店等へサイクルラックを導入する。 ※市が購入し、貸与する ※キャッチフレーズ「ちりりん香南(仮)」を使用予定 【設置数】 R2：40箇所(市施設25+事業所15) R3以降：15箇所/年 【10月末までの取り組み状況】 サイクルラックの購入準備を行う。 ※12/18 納品済	自転車活用推進計画中ではあるが、自転車観光に寄与するため、市庁舎・市内観光施設・宿泊施設・飲食店等へサイクルラックを計画的に導入していく。 ※40基購入済 ・市施設 25 ・事業所 15へ貸与していく。 「自転車通勤・通学応援事業」として、サイクルラック貸出・駐輪場の整備補助・ヘルメット補助金・思いやりステッカーの配布・サイクルサポーター制度等を運用する計画の検討を行っている。	40基購入し、市施設25、事業所15へ貸与していく。 R3年度は、R2年度の検討した計画を策定し、運用を図っていく。
	2-1. 環境整備 (ブルーライン整備) 【目標値】 個所数 ○箇所 ※活用推進計画で調整 10月末実績：0箇所 【実施主体】 香南市 国 高知県 【連携する分野】 観光分野、商業分野	【当初】 ■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 ・ブルーラインの整備を進め、サイクリストにやさしいまちづくりを推進すると共に市民の意識を向上させる。 R2：自転車活用推進計画策定 [香南市] (計画内でブルーラインの敷設箇所、間隔、記載内容、使用ピクトグラム等を決定) ※国道・県道等への敷設調整を行う。 R3以降：①市内サイクリングコース8コースへの整備 [香南市] ②国道・県道への整備 [国・高知県] 【10月末までの取り組み状況】 自転車活用推進計画の中でブルーライン設置場所等精査していく。	自転車活用推進計画策定中のため、動きなし。	自転車活用推進計画の中で決定した国道・県道等に、ブルーライン設置場所の敷設調整を行う。
	2-2. 道路環境整備 (施設や店舗への案内板整備) 【目標値】 整備箇所数 ○箇所 ※活用推進計画で調整 10月末実績：0箇所 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 観光分野、商業分野	【当初】 ■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 ・市内観光施設や店舗への案内看板の設置を進め、サイクリストにやさしいまちづくりを推進。 R2：自転車活用推進計画策定 [香南市] (計画内でブルーラインの敷設箇所、間隔、記載内容、使用ピクトグラム等を決定) ※国道・県道等への敷設調整を行う。 R3以降：①市内サイクリングコース8コースを対象として整備 [香南市] ②国道・県道を対象とした「整備計画」を国・県と協議 [香南市] 【10月末までの取り組み状況】 自転車活用推進計画の中で案内看板設置場所等精査していく。	自転車活用推進計画策定中のため、動きなし。	自転車活用推進計画の中で決定した、案内板等設置場所に、設置調整を行う。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
環境整備 (ハード整備)	2-3. 環境整備 (国や県と連携したハード整備)	【当初】 国・県と連携して自歩道整備を進め、新しいサイクリングコースとして設定する。 R2.5月 : ヤ・シイパーク西自歩道・連結道の整備完了(ヤ・シイパーク～岸本間) (実施主体:高知県中央東土木事務所) R2 : 物部川右岸河川敷自歩道整備(空港～戸板島間) (実施主体:四国地方整備局) ※管理者と協議し、ルートにはサイクリングコース愛称をつける。[香南市]	R2.6月にヤ・シイパーク西自歩道・連結道の整備完了 R2.7月に物部川右岸河川敷自歩道整備(空港～戸板島間)整備完了 今後も環境整備箇所があれば、国や県に要望していく。	物部川河川敷では、子どもや初心者を対象にしたシクロクロス形式の大会を高知県シクロクロス実行委員会が物部川河川敷で行いたいと利用計画。 また、3市で河川敷を使ったサイクリング事業(ロゲイニング等)を(一社)物部川DMO協議会と実施する。
	【目標値】 【整備箇所数 2箇所】 10月末実績 : 2箇所 【実施主体】 国土交通省四国地方整備局 高知県中央東土木事務所 香南市 【連携する分野】 観光分野	【10月末までの取り組み状況】 R2.6月 : ヤ・シイパーク西自歩道・連結道の整備完了 ※道路課にコースの愛称をとの話をしたが、高知安芸間の全自治体と関連事業者が関わることなのですぐには難しいとのこと。時間をかけて行っていく。 R2.7月 : 物部川右岸河川敷自歩道整備(空港～戸板島間)整備完了 ※イベント等は行わないが通れるようになっているとのこと		
	3. サイクリングターミナルの利活用、再整備	【当初】 ■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 自転車に特化した観光・交通安全教室等・合宿等を行うよう利活用を進める。 R2 : 自転車活用推進計画策定 (計画内で施設の特色を活かした利活用方法の再検討と利用方針の決定、再整備に向けた検討) 策定後即実施 (策定前、策定中でも可能であることはR1中に確定させ即実施) R3以降 : 整備開始	自転車活用推進計画策定中のため、動きなし。 ※R2年度内に自転車活用推進計画の中で拠点としてのサイクリングターミナルの利活用を検討を図る予定。	R2年度に検討された自転車活用推進計画の整備を開始する。
	【目標値】 整備箇所 : - ※活用推進計画で調整 10月末実績 : - 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 観光分野	【10月末までの取り組み状況】 自転車活用推進計画の中で利活用等検討していく。		

	R2年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評価	備考
-	-	-	-	

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)

【R2.4月～10月末の取組について】(P・D・C)
 住環境の整備において、住宅リフォーム推進事業では、住民への浸透も進み利用が活発となっている。市営住宅に関する事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により資材の確保に影響が出る等し、事業の進捗に遅れが生じている。宅地造成事業においては、香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関係性を重視しながら、事業を進めている。耐震関係事業では、ある一定進んでいること等から、各事業の申請数等は減少傾向にある。空き家対策に関する各事業では、新型コロナウイルス感染症の影響に対応しながら各事業に取り組むことで、本年度の目標値については達成する見込みであるが、活用可能な空き家の掘り起こしをさらに効率的に行うことや移住希望者に対してスムーズな住宅提供ができるよう努めていく必要がある。

【R3年度の取組について】(A)
 各事業における進捗状況から、原因や課題が明確化していることから、その原因や課題等をどのように対策、改善するかを今後も検討し、各事業のさらなる飛躍を目指していく。これにより、香南市の住環境の整備等を進め、香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目指す2060年の人口30,800人へと繋げていく。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
住環境の整備 ・ 支援	◆ 住環境の整備 1. 住宅リフォーム推進事業 (香南市住宅リフォーム推進事業費補助金) 【目標値】 総事業費 (10,000万円) 10月末実績： 10,234万円 ※ 補助金申請件数 112件 ※ 補助金交付決定額 1,475万円 【実施主体】 香南市 (建設課) 【連携する分野】 -	【当初】 市内に所有し、居住する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事を行った場合、その工事費用の20%(上限20万円)を補助する事業。 ※ 当事業は2年更新の事業であり、次期更新検討はR3年度を予定。見直しによって数値目標の下方修正の可能性もある。 【10月末までの取り組み状況】 当補助金の申請は、112件であり、1,500万円の枠に対し、1,475万円の交付決定となっている。当補助金を含む、リフォームに係る総事業費(目標値)は10,234万円が見込まれており、市内経済の発展に寄与している。	R元年度より、1世帯当たりの上限額(20万円)に至っていない場合、上限額までの申請(2回目の申請)を可能にしたことで、人気の高い補助金制度となっている。	当補助金は、2年ごとに事業の継続を見直すこととなっている。来年度は、事業の継続をどうするかを検討する年度となるが、利用度も高く、市内経済に寄与していることから、令和3年度からの2年間も継続していく。
	2. 市営住宅の生活環境の改善及び公衆衛生の向上事業 【目標値】 実施軒数 (20戸) 10月末実績： - 戸 【実施主体】 香南市 (住宅管財課) 【連携する分野】 -	【当初】 市営住宅の生活環境の保全、及び公衆衛生の向上に向け、単独処理浄化槽から合併浄化槽への変更と、福祉対応型改修工事として、手すりを新設する事業。 【10月末までの取り組み状況】 22戸の合併浄化槽等設置工事契約を締結。	R2年度の事業についてはR3年3月末までに22戸の工事が終了する予定。 R3年度の事業に向け、R2.12月に 22戸分の工事設計業務を業者に委託していることから、R3年の工事の実施に向け準備を進めていく。 ※浄化槽設置工事を実施する事を居住者へ説明する。	(継続事業) 合併浄化槽等設置工事 ▶ 令和3年度は、22戸分の工事設計業務を設計業者に委託した。(令和2年12月に契約済み) (新規事業) 赤岡町中浜団地南北棟48戸の玄関ドアの取替工事 ・事業内容 ▶ 既存の玄関ドアは古く重いため、高齢者等にとって開閉にも支障が出ている状況であることから、玄関ドアの取り替え工事を行う。
	3. 宅地造成整備事業 【目標値】 当事業の方向性及び対象地等の選定等。 10月末実績： 概略検討資料の作成 【実施主体】 香南市 (企画財政課・建設課) 【連携する分野】 - 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略 香南市都市計画マスタープラン	【当初】 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標数値である2060年の人口30,800人の維持に向け、関係機関と連携を図りながら、移住希望者の受け皿となる居住地の確保や市街地との人口格差解消のための新たな宅地の候補地の選定及び整備に取り組み、定住の促進を図る。 R2 : 当事業の方向性及び対象地等の選定等。 R3～ : R2年度の取り組みをより進めていく。 【10月末までの取り組み状況】 事業規模を想定するための概略検討(造成平面計画作成・施設検討・概算工事費算出等)を行う必要があることから資料作成に着手。	粛々と事業の準備を進めていく。	概略検討資料を元に施設の検討や関係機関との調整等を行い、宅地の候補地の選定および実施設計に向けた作業に取り組む。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
住環境の整備 ・ 支援	◆ 住環境の整備耐震化事業 1. 住宅耐震診断事業 【補助金利用件数(件)】 ・木造 香南市木造住宅耐震診断事業 ・非木造 香南市非木造住宅耐震診断費補助金 ※香南市耐震改修促進計画の目標件数(約300件)を第2期計画間で対応していく。 【目標値】 診断件数 60件 10月末実績： 43件 【実施主体】 香南市(防災対策課) 【連携する分野】 (香南市耐震改修促進計画)	【当初】 ・S56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断費用を補助。(木造：自己負担3千円、非木造：上限30千円) ・各地で震災があった後には、問い合わせが多くなる傾向にあることから、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。 【周知方法】 市広報、HPへの掲載 チラシ配布、自主防連絡会で周知、戸別訪問の実施、市のイベント等でブース展示 【10月末までの取り組み状況】 市広報、HPへの掲載 チラシ配布、自主防連絡会で周知	耐震化がある一定進んできており、近年申請件数は減少傾向にある。ただし、各地で震災があった後には問い合わせが多くなる傾向にあり、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。	・市広報へ補助制度を再度掲載する。 ・戸別訪問を実施。工事費が高額になる等の理由で申請を検討されている方等へは、低コスト工法の業者を紹介する。 ・市イベントでブース展示を行い、パネルや模型、チラシ等で住宅の耐震対策の重要性を周知する。
	2-1. 住宅耐震改修事業 (香南市住宅耐震改修工事費等補助金) 【目標値】 設計件数 (60件) 10月末実績： 32件 【実施主体】 香南市(防災対策課) 【連携する分野】 (香南市耐震改修促進計画)	【当初】 ・住宅耐震診断事業の結果等で、木造については評点が1.0未満と診断された住宅(非木造については倒壊し、又は崩壊する危険性があると判断された住宅)に対し、改修後の評点が1.0以上(非木造については安全性が確認された住宅)となるものについて、その設計費用を補助。(設計 上限305千円) ・各地で震災があった後には、問い合わせが多くなる傾向にあることから、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。 【周知方法】 市広報、HPへの掲載 チラシ配布、自主防連絡会で周知、戸別訪問の実施、市のイベント等でブース展示 【10月末までの取り組み状況】 市広報、HPへの掲載、チラシ配布、自主防連絡会で周知	耐震化がある一定進んできており、近年申請件数は減少傾向にある。ただし、各地で震災があった後には問い合わせが多くなる傾向にあり、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。	・市広報へ補助制度を再度掲載する。 ・戸別訪問を実施。工事費が高額になる等の理由で申請を検討されている方等へは、低コスト工法の業者を紹介する。 ・市イベントでブース展示を行い、パネルや模型、チラシ等で住宅の耐震対策の重要性を周知する。
	2-2.. 住宅耐震改修事業 (香南市住宅耐震改修工事費等補助金) 【目標値】 工事件数 (60件) 10月末実績： 37件 【実施主体】 香南市(防災対策課) 【連携する分野】 (香南市耐震改修促進計画)	【当初】 ・住宅耐震診断事業の結果等で、木造については評点が1.0未満と診断された住宅(非木造については倒壊し、又は崩壊する危険性があると判断された住宅)に対し、改修後の評点が1.0以上(非木造については安全性が確認された住宅)となるものについて、その工事費用を補助。(工事 上限1,000千円) ・各地で震災があった後には、問い合わせが多くなる傾向にあることから、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。 【周知方法】 市広報、HPへの掲載 チラシ配布、自主防連絡会で周知、戸別訪問の実施、市のイベント等でブース展示 【10月末までの取り組み状況】 市広報、HPへの掲載、チラシ配布、自主防連絡会で周知	耐震化がある一定進んできており、近年申請件数は減少傾向にある。ただし、各地で震災があった後には問い合わせが多くなる傾向にあり、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。	・市広報へ補助制度を再度掲載する。 ・戸別訪問を実施。工事費が高額になる等の理由で申請を検討されている方等へは、低コスト工法の業者を紹介する。 ・市イベントでブース展示を行い、パネルや模型、チラシ等で住宅の耐震対策の重要性を周知する。
	3. コンクリートブロック塀等耐震対策事業 (香南市ブロック塀等耐震対策事業費補助金) 【目標値】 補助事業件数 (25件) 10月末実績： 13件 【実施主体】 香南市(防災対策課) 【連携する分野】 (香南市耐震改修促進計画)	【当初】 ・避難路等に面している危険性のあるコンクリートブロック塀等を撤去したり、安全なフェンス等に造り替える経費に対して補助。(上限205千円) ・H30年6月の大阪府北部地震後に問い合わせが多数あり、コンクリートブロック塀耐震対策の必要性について住民の意識が高まった。 【周知方法】 市広報、HPへの掲載、チラシ配布、自主防連絡会で周知 【10月末までの取り組み状況】 市広報、HPへの掲載、チラシ配布、自主防連絡会で周知	H30.6月に発生した大阪府北部地震以降、住民の関心が高まり近年問い合わせは増加していたが、今年度は減少傾向にある。震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。	・市広報へ補助制度を再度掲載する。 ・市広報やホームページでブロック塀等の耐震対策の重要性を啓発し、点検の注意喚起を行う。 ・市イベント(パネル展)で住宅耐震と併せてブロック塀等安全対策のブース展示もを行い、パネルやチラシ等で周知する。 ・住宅耐震の戸別訪問時にブロック塀耐震対策の補助制度の紹介も行う。 ・老朽住宅等除却事業の申請者や管理不全な空き家への所有者等が敷地内に危険性のあるブロック塀等も所有している場合、ブロック塀等耐震対策の補助制度の紹介もする。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 ・当初【P】 ・10月末までの取り組み状況【D】	総括【C】	今後の取組【A】 (対策、改善について)
	R2年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	R3年度に向けて
空き家対策への 取り組み	◆ 空き家対策事業			
	1. 老朽住宅等除却事業 (香南市老朽住宅等除却事業費補助金)	【当初】 避難路等に面している又は延焼等により近隣住宅に影響する場所に存在する著しく老朽化した住宅等の除却に要する経費に対して補助。(補助率80%、上限1,645千円) ※老朽化した空き家の増加や制度が住民に広く認知されるようになってきている。	老朽化した空き家の増加や制度の認知度の高まりにより、問い合わせは増加傾向にある。	・市広報で補助制度を再度掲載する。 ・HPへ引き続き掲載する。 ・管理不全な状態の空き家への指導・助言時に補助制度の紹介もする。
	【目標値】 補助事業件数(30件) 10月末実績：25件	【周知方法】 市広報、HPへの掲載、チラシ配布、自主防連絡会で周知		
	【実施主体】 香南市(防災対策課)	【10月末までの取り組み状況】 市広報、HPへの掲載、チラシ配布、自主防連絡会で周知		
	【連携する分野】 (香南市空き家等対策計画)			
2. 空き家バンク事業	【当初】 まちづくり協議会や不動産業者等、地域との連携による空き家情報収集や移住相談員による活用可能な空き家調査を継続して実施し、空き家の掘り起こしを行うことで、市内空き家の有効活用を通じた移住希望者への住宅提供が出来るよう取り組んでいく。	R2年度の登録棟数(10月末現在)は9棟で、前年度の同時期と比較すると約2倍となっており、制度の周知が進んだと考えている。 また、年度当初はコロナウイルスの影響により休止していた空き家調査については、5月下旬から再開している。 活用可能な空き家の掘り起こしをさらに効率的に行うことが課題である。	R2年度は、広報等による制度周知や移住専門相談員による空き家調査のほか、効率よく空き家調査を行うために、まちづくり協議会への協力依頼を行ったが、R3年度も引き続き制度の周知を図るとともに、地域と連携した空き家の掘り起こしを計画的に実施することにより、空き家の有効活用を通じた移住希望者への住宅提供が出来るよう取り組んでいく。	
【目標値】 空き家バンク新規登録件数(12件) 10月末実績：9件	【周知方法】 相談窓口での制度説明、市広報・HPへの掲載、チラシの全戸配布等			
【実施主体】 香南市(地域支援課)	【10月末までの取り組み状況】 制度周知のため、窓口等での説明や市広報・HPへの情報掲載を実施。また、活用できる空き家の掘り起こしのため空き家調査を実施。10月末時点で、登録棟数(延べ)は49棟となっている。			
【連携する分野】 (香南市空き家等対策計画)				
3-1. 空き家改修事業(空き家改修) (香南市空き家改修事業費等補助金)	【当初】 ※ 空き家改修事業：国県財源措置あり 市の空き家バンクに登録している、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対し、耐震化を必須として、トイレの水洗化等住宅性能の向上のためのリフォームに要する費用を補助する。	相談窓口での制度説明による認知度の向上や、R元年度、移住者へのスムーズな住宅提供を目的として、マッチング前に補助金活用ができるように要綱を見直したこと等により、申請件数は増加傾向にある。 今後も「空き家バンク制度」と合わせて、本事業の広報を継続して行い、移住希望者に対してスムーズな住宅提供ができるよう努めていく必要がある。	R3年度以降も「空き家バンク」制度」と合わせて、制度の周知を図っていくことで、移住者や移住希望者に対してよりスムーズな住宅提供ができるよう取り組んでいく。	
【目標値】 改修件数(3件) 10月末実績：6件	【周知方法】 相談窓口での制度説明、市広報・HPへの掲載、チラシの全戸配布等			
【実施主体】 香南市(地域支援課)	【10月末までの取り組み状況】 制度周知のため、窓口等での説明や市広報への情報掲載を実施。10月末時点で7件申請(6件完了)あり。※R元繰越含む			
【連携する分野】 (香南市空き家等対策計画)				
3-2. 空き家改修事業(空き家修繕) (香南市空き家改修事業費等補助金)	【当初】 ※ 空き家修繕等支援事業：一部県財源措置あり 市の空き家バンクに登録している、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対し、有耐震性を前提に空き家の軽微な修繕費(200千円以下で、空き家の通常使用による損耗等で居住に際し支障となる箇所の取替、朽ちた畳の交換、網戸の設置等)を補助する。	相談窓口での制度説明による認知度の向上により、申請件数は増加傾向にある。 3-1と同様に、「空き家バンク制度」と合わせて、事業の広報を継続して行い、移住希望者に対してスムーズな住宅提供ができるよう努めていく。	3-1と同様に、R3年度以降も「空き家バンク」制度」と合わせて、制度の周知を図っていくことで、移住者や移住希望者に対してよりスムーズな住宅提供ができるよう取り組んでいく。	
【目標値】 改修件数(2件) 10月末実績：2件	【周知方法】 相談窓口での制度説明、市広報・HPへの掲載、チラシの全戸配布等			
【実施主体】 香南市(地域支援課)	【10月末までの取り組み状況】 制度周知のため、窓口等での説明や市広報への情報掲載を実施。10月末時点で2件実績あり。			
【連携する分野】 (香南市空き家等対策計画)				